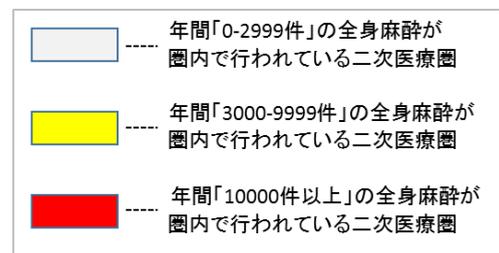
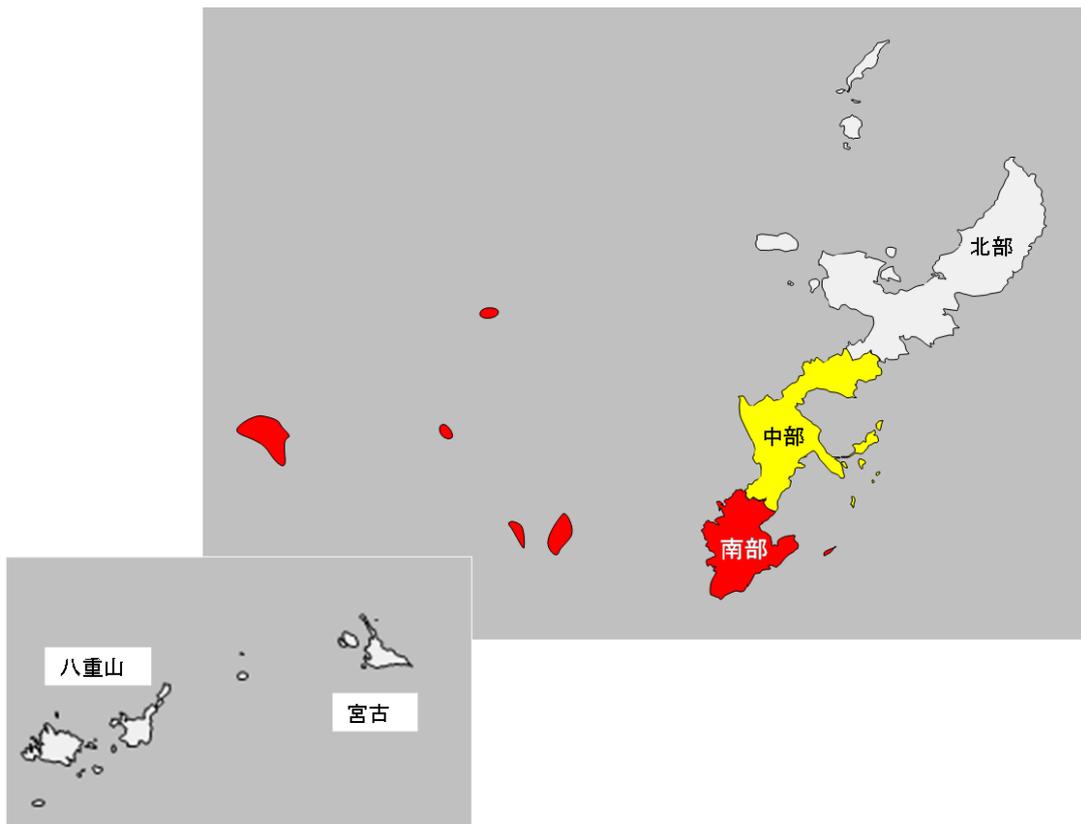


47. 沖縄県

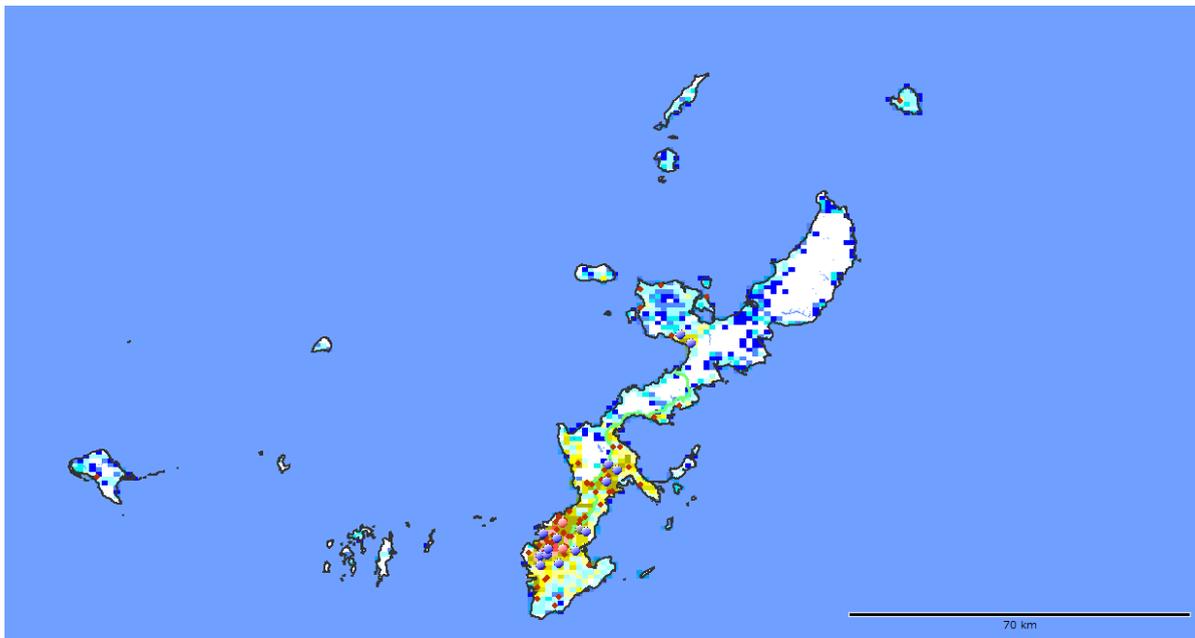


目次

沖縄県	47	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	47	-	8
1. 北部医療圏	47	-	20
2. 中部医療圏	47	-	25
3. 南部医療圏	47	-	30
4. 宮古医療圏	47	-	35
5. 八重山医療圏	47	-	40

47. 沖縄県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(沖縄県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 沖縄県は、総人口約1434千人(2015年)、面積2281km²、人口密度は628人/km²である。

*人口の将来予測： 沖縄県の総人口は2025年に1414千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に1369千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の143千人が、2025年にかけて181千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には240千人へと増加する(2025年比+33%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 沖縄県の一人当たり医療費(国保)は295千円(偏差値39)、介護給付費は308千円(偏差値66)であり、医療費は低い、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 沖縄県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.14で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数53、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 沖縄県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、14119人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が9375床(偏差値53)、高齢者住宅等が4744床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、14425人(75歳以上1000人当たりの偏差値71)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム43、軽費ホーム51、グループホーム40、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、1846人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-27%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

沖縄県の総人口は、2005年1361594人が、2015年に1433566人と5%増加し、2025年の人口が1414154人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

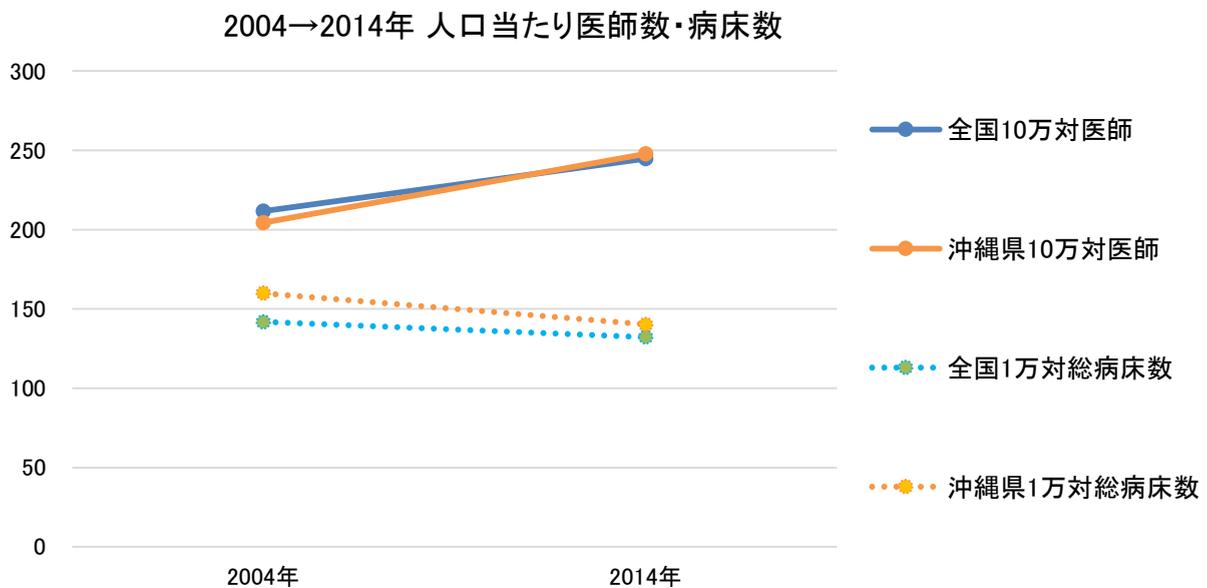
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が95(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に94(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が745(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に874(人口10万人当たり61診療所(全国平均79)偏差値40)と、129診療所が増加した。

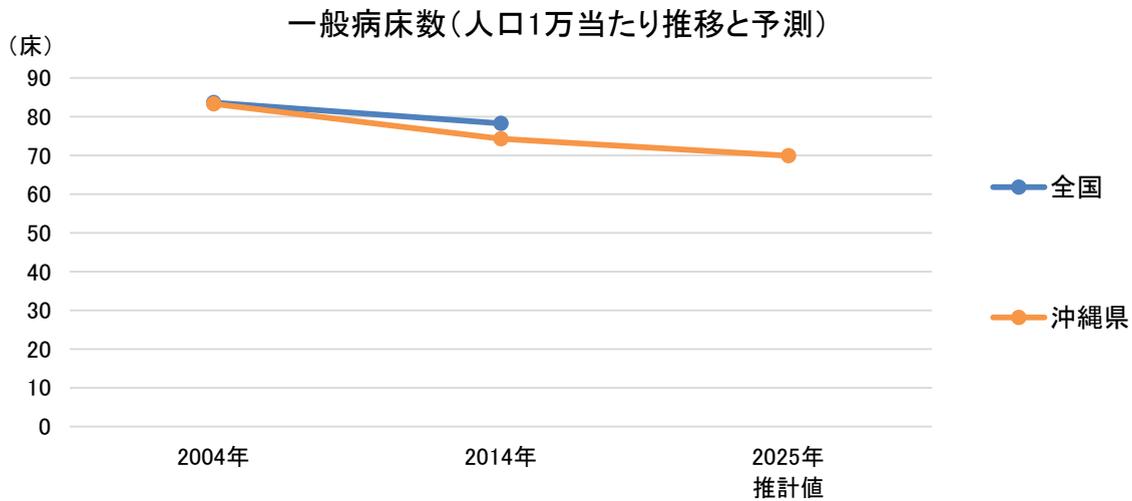
2004年の総病床数が21768床(人口1万人当たり160(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に20109床(人口1万人当たり140(全国平均132)偏差値51)と、1659床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2784人(人口10万人当たり204人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に3552人(人口10万人当たり248人(全国平均245人)偏差値50)と、768人の増加、率にして28%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



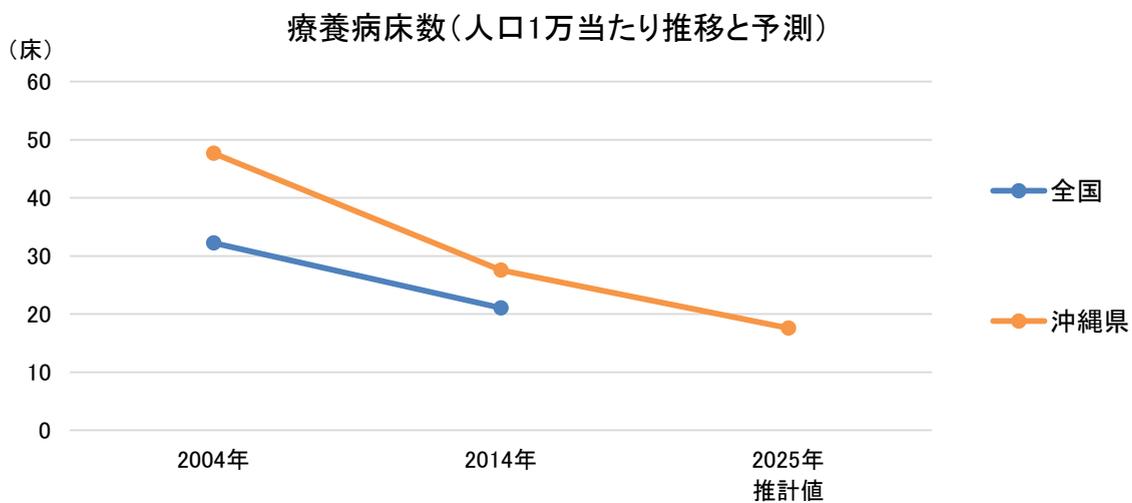
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11344床(人口1万人当たり83(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に10653床(人口1万人当たり74(全国平均78)偏差値49)と、691床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9893床(2025年の推計人口1万人当たり70)になることが予想される。



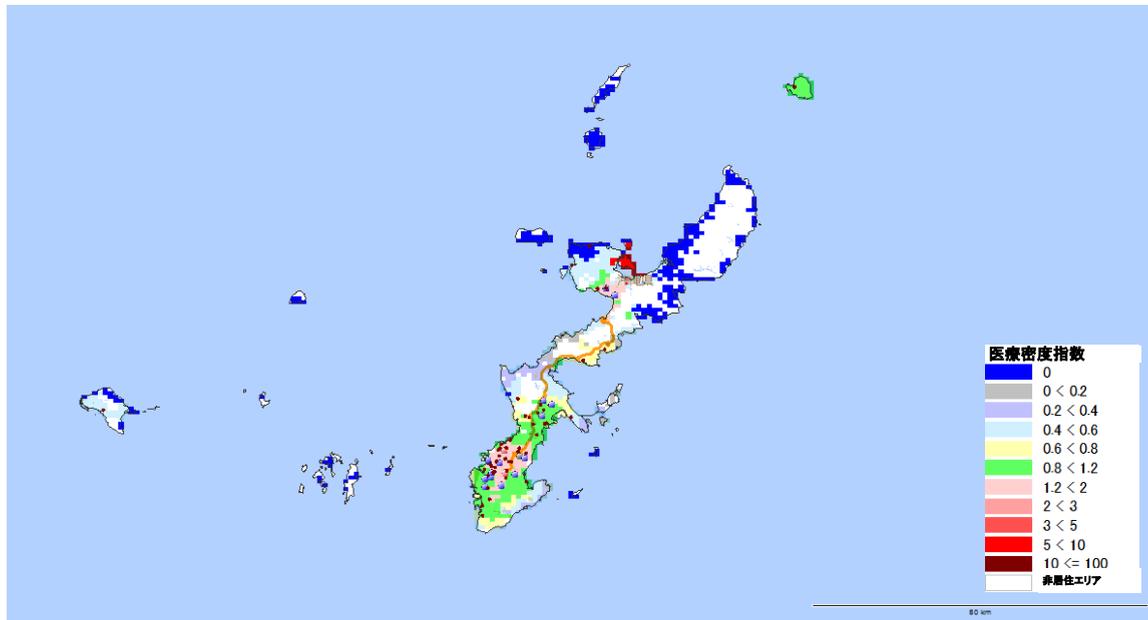
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4645床(75歳以上1000人当たり48(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に3953床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、692床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3193床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。



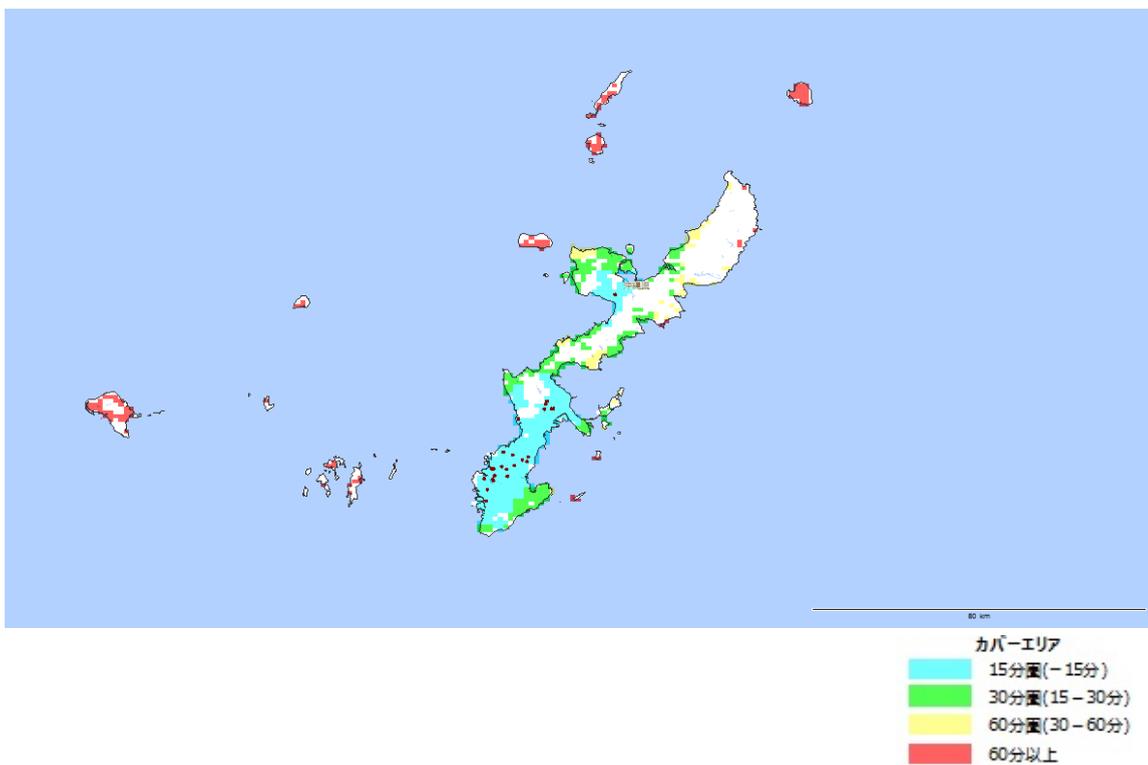
(沖縄県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表47-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 47-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
沖縄県	1,434	25位	2,281	44位	628.5		19%	1,414	1,369	143	181	240	-1%	-3%	27%	33%
北部	101	7%	705	31%	143.8	過疎地域型	23%	97	90	13	15	20	-4%	-7%	15%	33%
中部	499	35%	368	16%	1,356.4	地方都市型	19%	491	481	48	61	80	-2%	-2%	27%	31%
南部	727	51%	389	17%	1,870.9	地方都市型	19%	724	704	70	91	121	0%	-3%	30%	33%
宮古	52	4%	226	10%	231.6	地方都市型	25%	48	43	7	7	10	-8%	-10%	0%	43%
八重山	53	4%	593	26%	90.1	過疎地域型	19%	54	52	5	7	9	2%	-4%	40%	29%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 47-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
沖縄県	1.07	1.14	11,626	14,761	-27.0%
北部	0.88	0.98	1,069	1,261	-18.0%
中部	0.97	1.81	3,850	4,927	-28.0%
南部	1.16	0.74	5,506	7,431	-35.0%
宮古	1.39	1.39	743	609	18.0%
八重山	0.67	0.67	458	533	-16.3%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 47-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
沖縄県	295	39	1.069	135	52	1.292	142	25	0.949	308	66
北部	320	45	1.059	150	57	1.300	153	31	0.929	311	66
中部	273	34	1.001	124	48	1.197	133	20	0.895	306	65
南部	316	44	1.096	147	56	1.347	150	30	0.956	298	63
宮古	262	31	0.869	113	44	0.982	131	19	0.801	399	91
八重山	242	27	0.876	100	40	0.953	127	17	0.846	323	70
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表47-35を参照。

資_図表 47-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
沖縄県	94	1.1%	6.6	50	888	0.9%	62	41
北部	10	11%	9.9	58	63	7%	62	41
中部	29	31%	5.8	48	221	25%	44	31
南部	48	51%	6.6	50	529	60%	73	46
宮古	4	4%	7.6	52	37	4%	71	45
八重山	3	3%	5.6	47	38	4%	71	46
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 47-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
沖縄県	888	0.9%	62	41	794	0.9%	55	40	94	1.2%	6.6	50
北部	63	7%	62	41	57	7%	56	41	6	6%	5.9	49
中部	221	25%	44	31	200	25%	40	32	21	22%	4.2	47
南部	529	60%	73	46	477	60%	66	46	52	55%	7.1	51
宮古	37	4%	71	45	29	4%	55	40	8	9%	15.3	64
八重山	38	4%	71	46	31	4%	58	42	7	7%	13.1	61
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 47-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
沖縄県	18,902	1.2%	1,319	52	1,150	1.1%	80	50	20,052	1.2%	1,399	51
北部	1,921	10%	1,894	63	48	4%	47	46	1,969	10%	1,941	61
中部	5,927	31%	1,188	49	226	20%	45	46	6,153	31%	1,233	48
南部	9,787	52%	1,346	52	729	63%	100	52	10,516	52%	1,446	52
宮古	758	4%	1,447	54	115	10%	220	63	873	4%	1,667	56
八重山	509	3%	953	44	32	3%	60	48	541	3%	1,013	45
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 47-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
沖縄県	9,571	1.1%	668	48	3,828	1.2%	267	50	5,412	1.6%	378	55
北部	1,060	11%	1,045	65	496	13%	489	61	363	7%	358	54
中部	2,640	28%	529	42	1,374	36%	275	51	1,859	34%	373	55
南部	5,022	52%	690	49	1,654	43%	227	49	3,091	57%	425	57
宮古	487	5%	930	60	216	6%	412	57	49	1%	94	42
八重山	362	4%	678	49	88	2%	165	46	50	1%	94	42
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 47-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
沖縄県	1,089	1.5%	76	54	306	0.5%	21	43
北部	124	11%	122	64	50	16%	49	48
中部	368	34%	74	53	104	34%	21	43
南部	553	51%	76	54	145	47%	20	43
宮古	0	0%	0	38	7	2%	13	42
八重山	44	4%	82	55	0	0%	0	40
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 47-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
沖縄県	5,609	4,752	50	13,284	4,859	3,729	49.4%	49	1.3%	47
北部	1,062	1,060	0	859	0	496	100.0%	70	0.0%	46
中部	1,356	976	0	4,571	1,711	1,327	36.3%	43	0.0%	46
南部	2,398	2,037	50	7,389	2,987	1,602	40.5%	45	3.0%	47
宮古	443	388	0	306	90	216	81.2%	62	0.0%	46
八重山	350	291	0	159	71	88	80.4%	62	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 47-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
沖縄県	29,172	1.0%	2,035	48	15,324	1.5%	1,069	59
北部	1,032	4%	1,017	38	852	6%	840	51
中部	7,896	27%	1,582	44	4,104	27%	822	51
南部	19,020	65%	2,615	54	9,264	60%	1,274	67
宮古	756	3%	1,443	42	600	4%	1,145	62
八重山	468	2%	876	37	504	3%	944	55
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 47-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
沖縄県	3,775	1.1%	263	49	2,661	1.2%	186	53	1,114	0.9%	78	42
北部	222	6%	219	44	154	6%	151	47	69	6%	68	39
中部	1,031	27%	207	43	720	27%	144	46	311	28%	62	37
南部	2,300	61%	316	55	1,655	62%	228	59	645	58%	89	45
宮古	128	3%	244	47	79	3%	150	47	49	4%	94	47
八重山	94	2%	175	39	54	2%	101	40	40	4%	74	41
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 47-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
沖縄県	149	1.0%	10.4	47	163	1.3%	11.4	53	145	1.4%	10.1	55
北部	4	3%	3.9	37	11	7%	10.8	52	4	3%	3.9	38
中部	46	31%	9.2	45	42	26%	8.4	47	40	28%	8.0	49
南部	91	61%	12.5	50	100	61%	13.7	59	92	63%	12.6	62
宮古	4	3%	7.6	43	6	4%	11.5	54	4	3%	7.6	48
八重山	4	3%	7.5	43	4	2%	7.5	45	5	3%	9.4	53
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 47-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
沖縄県	40	0.8%	2.8	43	87	0.9%	6.1	46	75	1.0%	5.2	47
北部	2	5%	2.0	39	4	5%	3.9	39	3	4%	3.0	39
中部	4	10%	0.8	34	25	29%	5.0	42	17	23%	3.4	40
南部	31	78%	4.3	51	54	62%	7.4	50	51	68%	7.0	54
宮古	3	8%	5.7	58	3	3%	5.7	45	2	3%	3.8	42
八重山	0	0%	0	30	1	1%	1.9	32	2	3%	3.7	42
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 47-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
沖縄県	146	1.8%	10.2	61	209	1.0%	14.6	48	164	1.1%	11.4	49
北部	7	5%	6.9	51	20	10%	19.7	55	7	4%	6.9	38
中部	63	43%	12.6	68	52	25%	10.4	42	41	25%	8.2	41
南部	70	48%	9.6	59	123	59%	16.9	51	105	64%	14.4	55
宮古	3	2%	5.7	48	9	4%	17.2	52	7	4%	13.4	53
八重山	3	2%	5.6	47	5	2%	9.4	40	4	2%	7.5	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 47-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
沖縄県	57	1.0%	4.0	47	63	1.0%	4.4	47	62	1.2%	4.3	51
北部	2	4%	2.0	38	4	6%	3.9	45	3	5%	3.0	46
中部	13	23%	2.6	41	13	21%	2.6	40	14	23%	2.8	45
南部	38	67%	5.2	54	41	65%	5.6	53	41	66%	5.6	55
宮古	3	5%	5.7	56	4	6%	7.6	61	2	3%	3.8	49
八重山	1	2%	1.9	37	1	2%	1.9	37	2	3%	3.7	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 47-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
沖縄県	77	1.2%	5.4	51	17	1.1%	1.2	50	63	1.9%	4.4	61
北部	4	5%	3.9	46	1	6%	1.0	47	5	8%	4.9	64
中部	17	22%	3.4	44	4	24%	0.8	45	21	33%	4.2	60
南部	53	69%	7.3	57	11	65%	1.5	53	35	56%	4.8	63
宮古	1	1%	1.9	39	0	0%	0	37	2	3%	3.8	57
八重山	2	3%	3.7	45	1	6%	1.9	57	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 47-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
沖縄県	22	1.1%	1.5	50	28	1.2%	2.0	51
北部	2	9%	2.0	54	0	0%	0	36
中部	10	45%	2.0	54	9	32%	1.8	50
南部	10	45%	1.4	48	16	57%	2.2	53
宮古	0	0%	0	37	2	7%	3.8	65
八重山	0	0%	0	37	1	4%	1.9	50
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 47-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
沖縄県	14,346	1.3%	1,001	54	12,129	1.3%	846	55	2,217	1.1%	155	50
北部	1,094	8%	1,079	57	933	8%	920	58	161	7%	159	50
中部	4,305	30%	863	50	3,625	30%	726	50	680	31%	136	47
南部	8,106	57%	1,114	58	6,926	57%	952	60	1,180	53%	162	51
宮古	466	3%	890	50	355	3%	678	48	111	5%	212	58
八重山	375	3%	702	44	290	2%	543	43	85	4%	159	51
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 47-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
沖縄県	2,099	1.7%	146	59	2,109	0.7%	147	41
北部	158	8%	155	60	108	5%	106	37
中部	749	36%	150	60	533	25%	107	37
南部	1,118	53%	154	60	1,356	64%	186	46
宮古	30	1%	57	42	53	3%	101	36
八重山	44	2%	82	47	59	3%	110	37
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 47-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
沖縄県	102	0.8%	0.7	47	12	1.0%	0.1	51	116	1.1%	0.8	58
北部	6	6%	0.5	42	1	8%	0.1	51	9	8%	0.7	53
中部	27	26%	0.6	44	4	33%	0.1	51	44	38%	0.9	63
南部	61	60%	0.9	51	7	58%	0.1	54	50	43%	0.7	53
宮古	6	6%	0.8	50	0	0%	0	38	7	6%	0.9	65
八重山	2	2%	0.4	40	0	0%	0	38	6	5%	1.1	74
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 47-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
沖縄県	14,119	0.8%	98	47	9,375	0.9%	65	53	4,744	0.7%	33	44
北部	1,204	9%	95	45	997	11%	79	64	207	4%	16	34
中部	4,815	34%	100	48	3,202	34%	67	54	1,613	34%	34	44
南部	6,789	48%	97	46	4,274	46%	61	50	2,515	53%	36	46
宮古	793	6%	107	52	516	6%	70	57	277	6%	37	47
八重山	518	4%	97	46	386	4%	73	59	132	3%	25	39
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 47-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
沖縄県	3,941	1.1%	27	58	4,879	0.9%	34	49	555	0.9%	3.9	50
北部	350	9%	28	59	559	11%	44	59	88	16%	6.9	57
中部	1,100	28%	23	51	1,821	37%	38	53	281	51%	5.8	54
南部	2,155	55%	31	64	2,029	42%	29	44	90	16%	1.3	43
宮古	180	5%	24	53	240	5%	32	47	96	17%	13.0	72
八重山	156	4%	29	62	230	5%	43	59	0	0%	0	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
沖縄県	969	0.4%	6.8	43	225	1.0%	1.6	51	897	0.5%	6.3	40
北部	0	0%	0	37	0	0%	0	43	72	8%	5.7	39
中部	223	23%	4.6	41	80	36%	1.7	51	285	32%	5.9	39
南部	682	70%	9.7	46	100	44%	1.4	50	450	50%	6.4	40
宮古	64	7%	8.6	45	0	0%	0	43	63	7%	8.5	44
八重山	0	0%	0	37	45	20%	8.5	83	27	3%	5.1	38
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
沖縄県	2,653	1.1%	18.5	56	160	1.0%	1.1	51	2,493	1.1%	17.4	56
北部	135	5%	10.7	45	0	0%	0	44	135	5%	10.7	46
中部	1,025	39%	21.3	60	60	38%	1.2	52	965	39%	20.1	60
南部	1,283	48%	18.3	55	0	0%	0	44	1,283	51%	18.3	57
宮古	150	6%	20.3	58	100	63%	13.5	125	50	2%	6.8	40
八重山	60	2%	11.3	46	0	0%	0	44	60	2%	11.3	47
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 47-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
沖縄県	1,586	1.0%	11.1	53	1,118	0.9%	7.8	52	468	1.0%	3.3	54
北部	134	8%	10.5	51	104	9%	8.2	54	29	6%	2.3	44
中部	547	34%	11.4	55	376	34%	7.8	52	171	37%	3.6	57
南部	728	46%	10.4	51	504	45%	7.2	49	224	48%	3.2	54
宮古	121	8%	16.3	76	95	8%	12.8	76	26	6%	3.5	57
八重山	57	4%	10.6	52	39	3%	7.3	50	18	4%	3.3	55
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
沖縄県	16,271	1.1%	113	68	14,425	1.2%	101	71	1,846	0.8%	12.9	48
北部	1,423	9%	112	68	1,185	8%	93	65	238	13%	18.8	59
中部	5,503	34%	115	69	4,912	34%	102	72	591	32%	12.3	47
南部	7,741	48%	111	66	7,068	49%	101	71	673	36%	9.6	42
宮古	1,024	6%	138	88	747	5%	101	71	277	15%	37.4	92
八重山	581	4%	109	65	513	4%	96	67	68	4%	12.7	48
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
沖縄県	6,619	0.6%	46	44	1,966	0.4%	14	38	9,138	0.6%	64	41
北部	387	6%	31	39	246	13%	19	43	1,006	11%	79	46
中部	1,536	23%	32	39	579	29%	12	37	2,822	31%	59	40
南部	3,728	56%	53	46	924	47%	13	38	3,894	43%	56	39
宮古	833	13%	113	65	122	6%	16	40	1,056	12%	143	66
八重山	135	2%	25	37	95	5%	18	42	360	4%	68	42
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 47-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
沖縄県		1,361,594	1,433,566	5%	1,414,154	4%	13%	10%	25%
北部	過疎地域型	102,483	101,444	-1%	96,913	-5%	4%	9%	13%
中部	地方都市型	464,371	499,000	7%	491,221	6%	17%	9%	27%
南部	地方都市型	688,706	727,337	6%	723,891	5%	14%	11%	27%
宮古	地方都市型	54,863	52,380	-5%	48,460	-12%	0%	2%	1%
八重山	過疎地域型	51,171	53,405	4%	53,669	5%	8%	12%	22%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 47-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
沖縄県	95	7.0	50	94	6.6	50	-1	-1%	93
北部	9	8.8	54	10	9.9	58	1	11%	11
中部	29	6.2	48	29	5.8	48	0	0%	29
南部	50	7.3	50	48	6.6	50	-2	-4%	46
宮古	4	7.3	50	4	7.6	52	0	0%	4
八重山	3	5.9	47	3	5.6	47	0	0%	3
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 47-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
沖縄県	745	55	39	874	61	40	129	17%	1,015
北部	60	59	41	62	61	40	2	3%	64
中部	194	42	33	222	44	32	28	14%	253
南部	423	61	43	517	71	46	94	22%	620
宮古	35	64	44	37	71	46	2	6%	39
八重山	33	64	44	36	67	44	3	9%	39
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 47-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
沖縄県	2,784	204	49	3,552	248	50	768	28%	4,396
北部	172	168	45	194	191	44	22	13%	218
中部	742	160	44	954	191	44	212	29%	1,187
南部	1,695	246	54	2,209	304	56	514	30%	2,774
宮古	91	166	45	101	193	44	10	11%	112
八重山	84	164	44	94	176	43	10	12%	105
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 47-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
沖縄県	21,768	160	53	20,109	140	51	-1,659	-8%	18,285
北部	2,338	228	65	1,985	196	61	-353	-15%	1,597
中部	6,393	138	49	6,178	124	49	-215	-3%	5,942
南部	11,360	165	54	10,532	145	52	-828	-7%	9,621
宮古	1,116	203	61	873	167	56	-243	-22%	606
八重山	561	110	44	541	101	45	-20	-4%	519
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 47-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
沖縄県	11,344	83	50	10,653	74	49	-691	-6%	9,893	70
北部	1,407	137	69	1,124	111	62	-283	-20%	813	84
中部	2,938	63	43	2,889	58	42	-49	-2%	2,835	58
南部	5,820	85	50	5,654	78	50	-166	-3%	5,471	76
宮古	765	139	70	592	113	63	-173	-23%	402	83
八重山	414	81	49	394	74	48	-20	-5%	372	69
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 47-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
沖縄県	4,645	48	59	3,953	28	56	-692	-15%	3,193	18
北部	496	45	57	496	39	65	0	0%	496	32
中部	1,468	49	60	1,376	29	56	-92	-6%	1,275	21
南部	2,352	52	61	1,767	25	54	-585	-25%	1,124	12
宮古	241	37	53	226	31	58	-15	-6%	210	28
八重山	88	20	43	88	17	46	0	0%	88	13
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

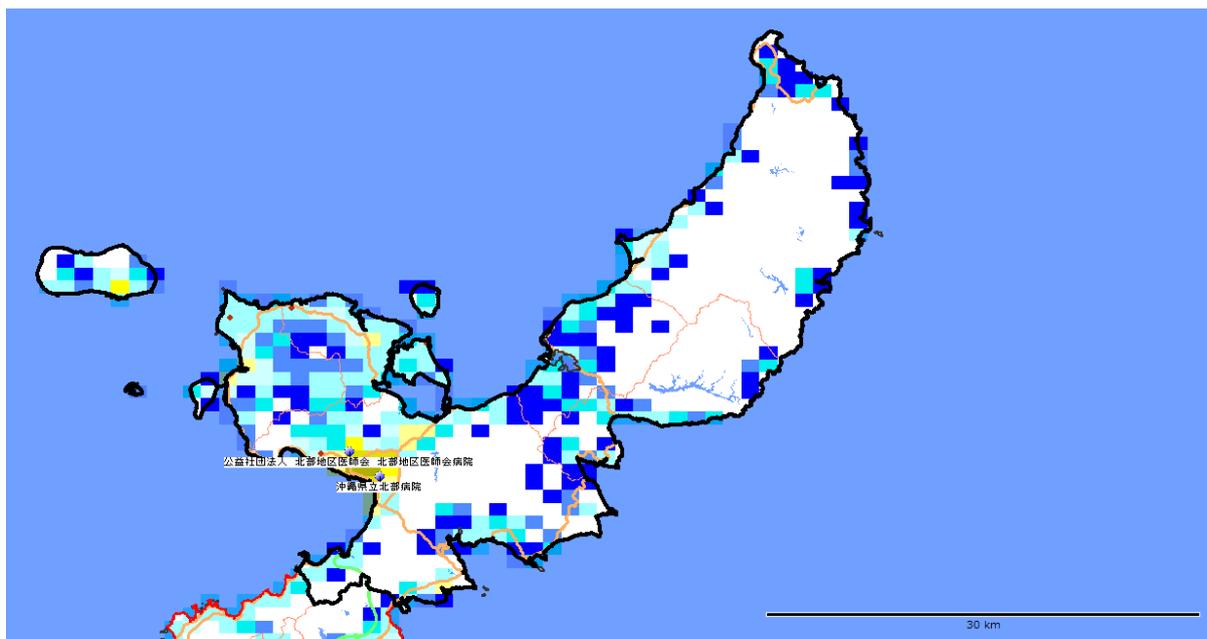
資_図表 47-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
										全国
沖縄県	1,016	57	1.103	609	65	1.337	385	36	0.890	
北部	1,064	61	1.127	645	69	1.334	398	40	0.927	
中部	973	53	1.060	588	63	1.299	364	31	0.841	
南部	1,064	61	1.161	640	68	1.420	400	40	0.924	
宮古	828	41	0.886	453	49	0.963	357	30	0.828	
八重山	939	50	1.009	533	57	1.140	389	37	0.904	
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省									

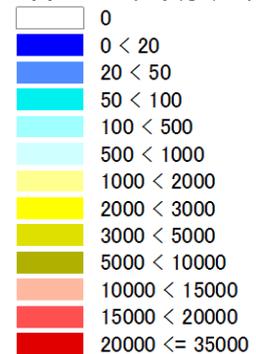
47-1. ほくぶ北部医療圏

構成市区町村⁹ [名護市](#) [国頭村](#) [大宜味村](#) [東村](#)
[今帰仁村](#) [本部町](#) [伊江村](#) [伊平屋村](#)
[伊是名村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北部(名護市)は、総人口約101千人(2015年)、面積705km²、人口密度は144人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に97千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に90千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて15千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には20千人へと増加する(2025年比+33%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は320千円(偏差値45)、介護給付費は311千円(偏差値66)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.88、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.98で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数47、診療所医師数39)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の沖縄県立北部病院(Ⅲ群)、北部地区医師会病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値64と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1204人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が997床(偏差値64)、高齢者住宅等が207床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1185人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設57、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム39、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、238人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年102483人が、2015年に101444人と1%減少し、2025年の人口が96913人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

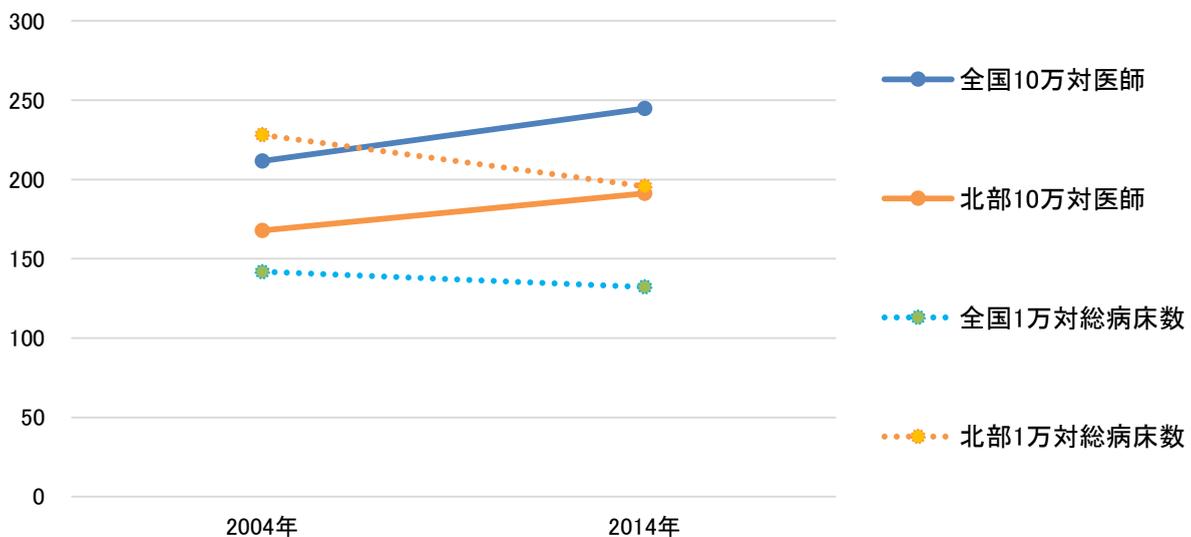
2004年の病院数が9(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に10(人口10万人当たり9.9病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が60(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に62(人口10万人当たり61診療所(全国平均79)偏差値40)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が2338床(人口1万人当たり228(全国平均142)偏差値65)であったが、2014年に1985床(人口1万人当たり196(全国平均132)偏差値61)と、353床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

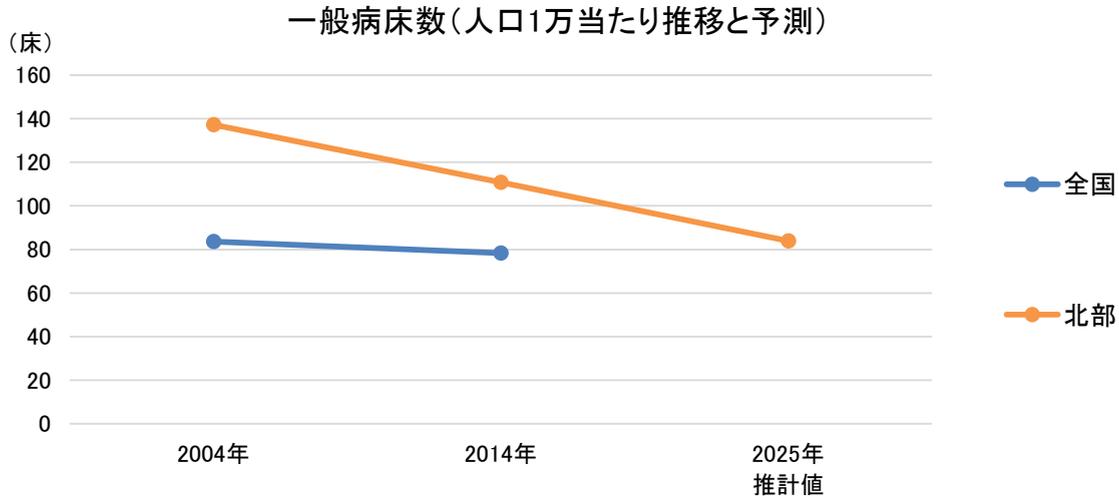
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が172人(人口10万人当たり168人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に194人(人口10万人当たり191人(全国平均245人)偏差値44)と、22人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



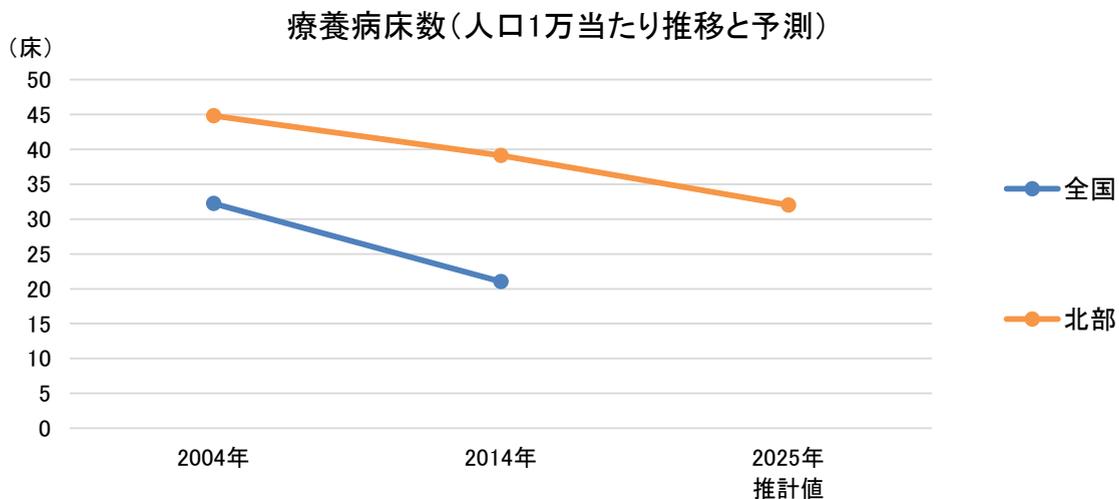
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1407床(人口1万人当たり137(全国平均84)偏差値69)であったが、2014年に1124床(人口1万人当たり111(全国平均78)偏差値62)と、283床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には813床(2025年の推計人口1万人当たり84)になることが予想される。



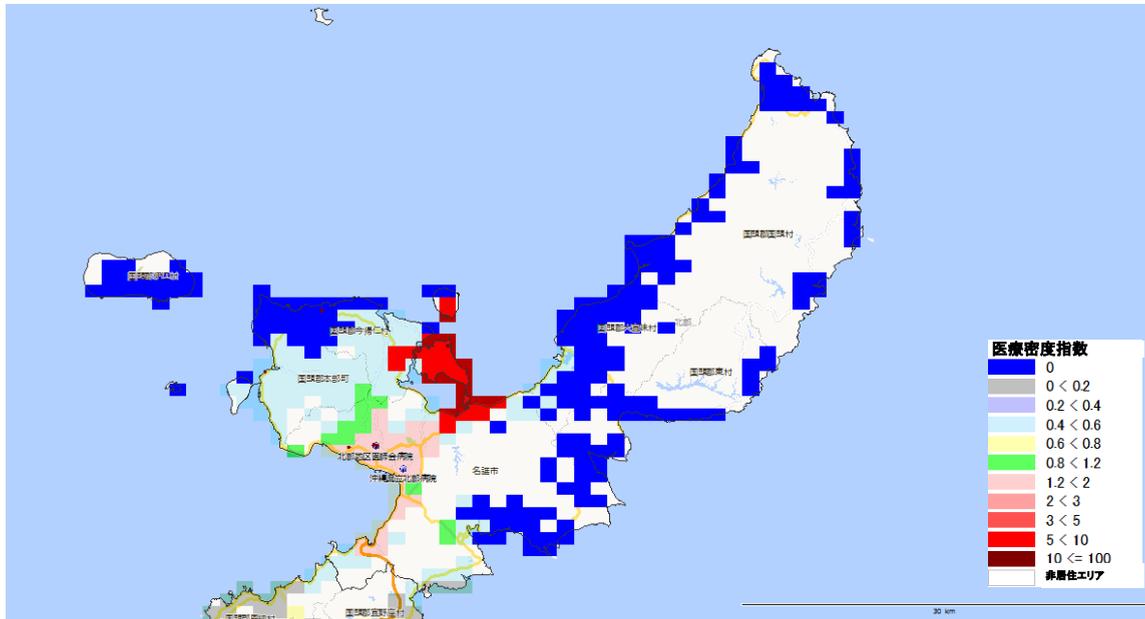
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が496床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に496床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値65)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には496床(2025年の推計75歳以上1000人当たり32)になることが予想される。



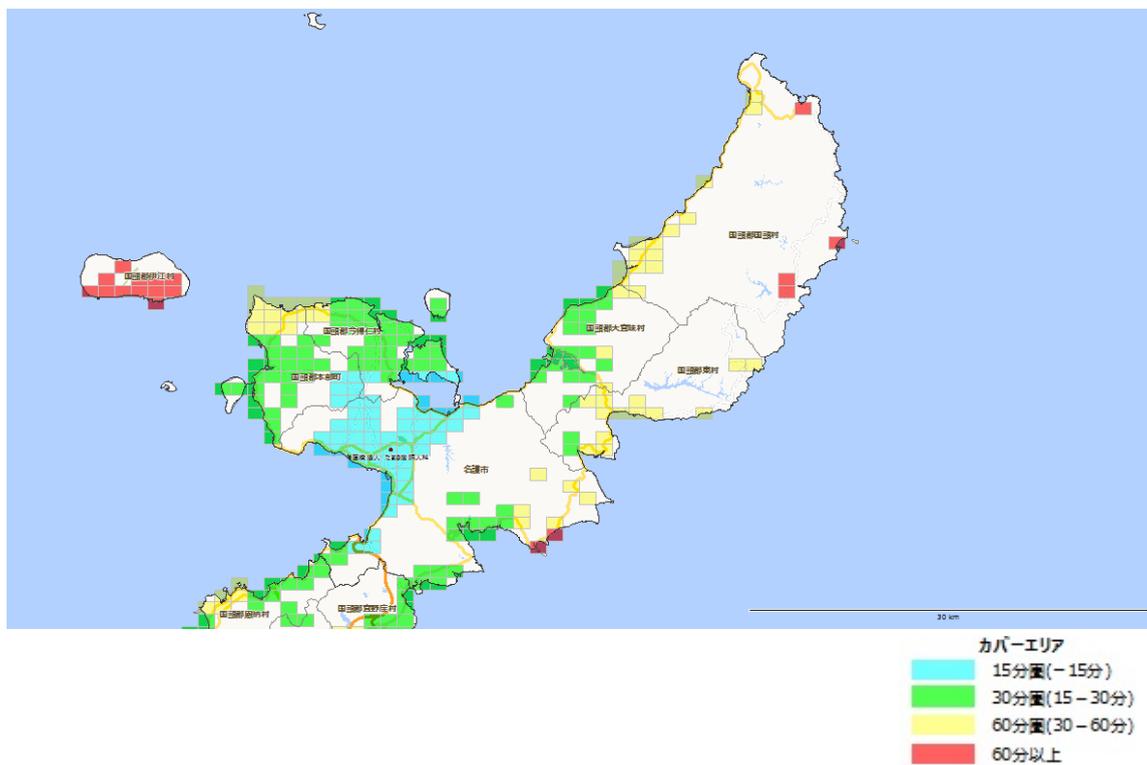
(北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表47-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

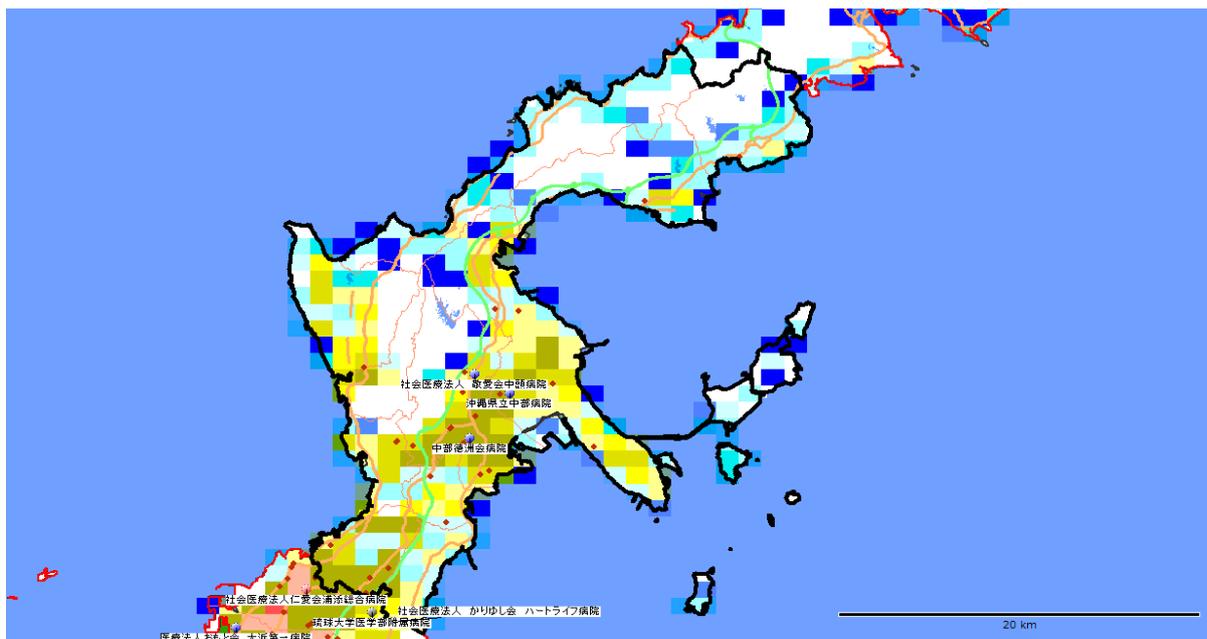


47-2. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村⁹

宜野湾市	沖縄市	うるま市	恩納村
宜野座村	金武町	読谷村	嘉手納町
北谷町	北中城村	中城村	

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中部(宜野湾市)は、総人口約499千人(2015年)、面積368km²、人口密度は1356人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中部の総人口は2025年に491千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に481千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて61千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には80千人へと増加する(2025年比+31%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は273千円(偏差値34)、介護給付費は306千円(偏差値65)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数2は0.97、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.81で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が43(病院医師数46、診療所医師数37)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。中部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の沖縄県立中部病院(Ⅲ群・救命)、ハートライフ病院(Ⅲ群)、中部徳洲会病院(Ⅲ群)、中頭病院(Ⅱ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は31で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4815人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3202床(偏差値54)、高齢者住宅等が1613床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4912人(75歳以上1000人当たりの偏差値72)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム41、軽費ホーム51、グループホーム39、サ高住60である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、591人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-28%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(中部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年464371人が、2015年に499000人と7%増加し、2025年の人口が491221人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

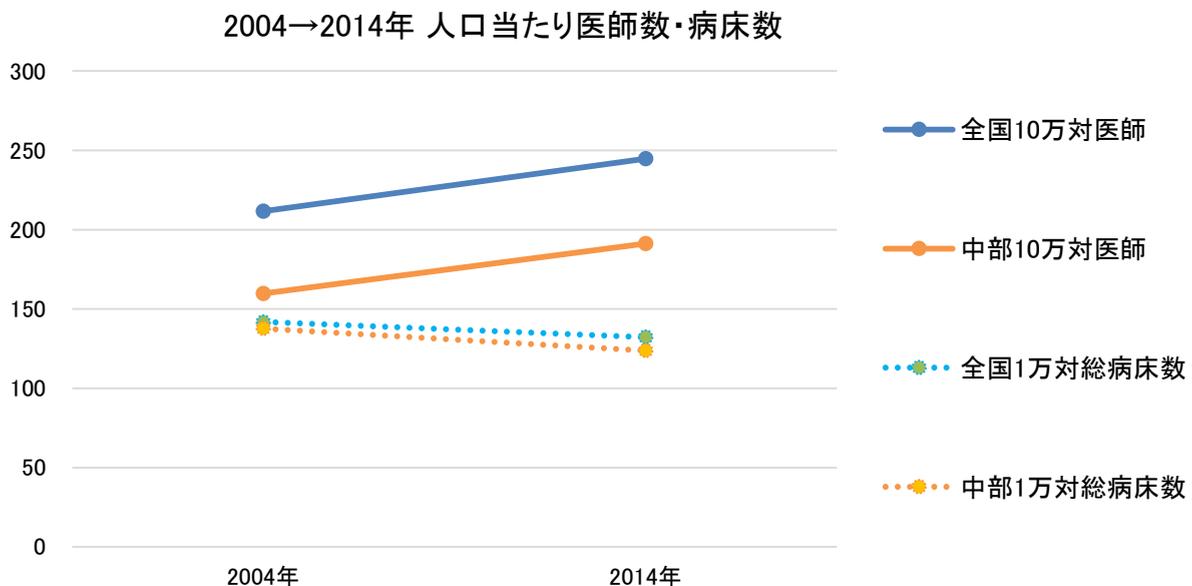
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が29(人口10万人当たり6.2病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に29(人口10万人当たり5.8病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が194(人口10万人当たり42診療所(全国平均76)偏差値33)であったが、2014年に222(人口10万人当たり44診療所(全国平均79)偏差値32)と、28診療所が増加した。

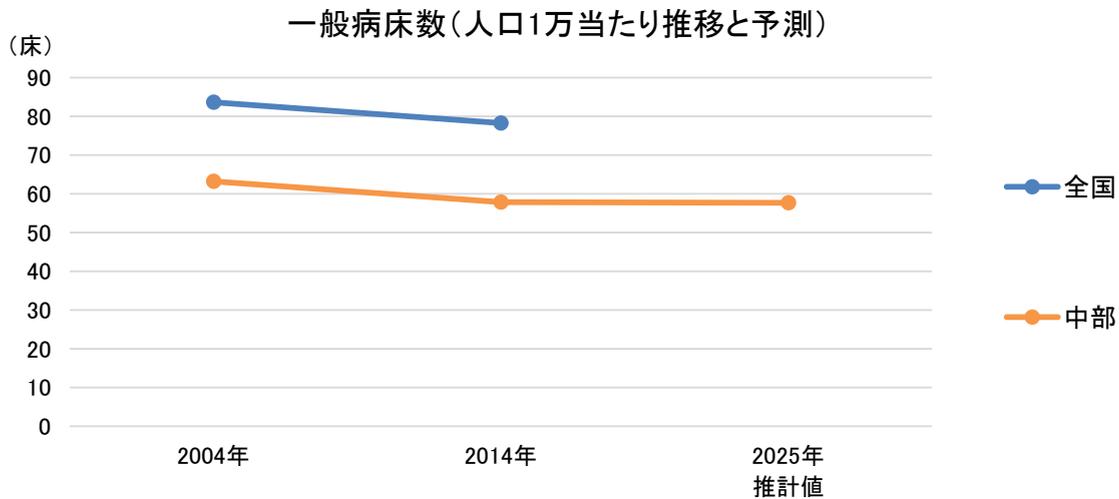
2004年の総病床数が6393床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に6178床(人口1万人当たり124(全国平均132)偏差値49)と、215床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が742人(人口10万人当たり160人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に954人(人口10万人当たり191人(全国平均245人)偏差値44)と、212人の増加、率にして29%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



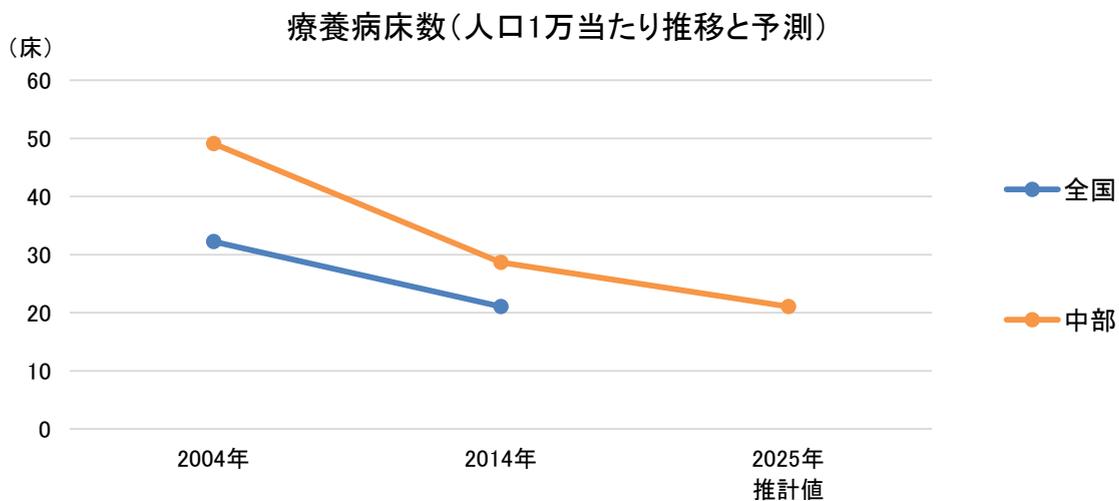
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2938床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に2889床(人口1万人当たり58(全国平均78)偏差値42)と、49床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2835床(2025年の推計人口1万人当たり58)になることが予想される。



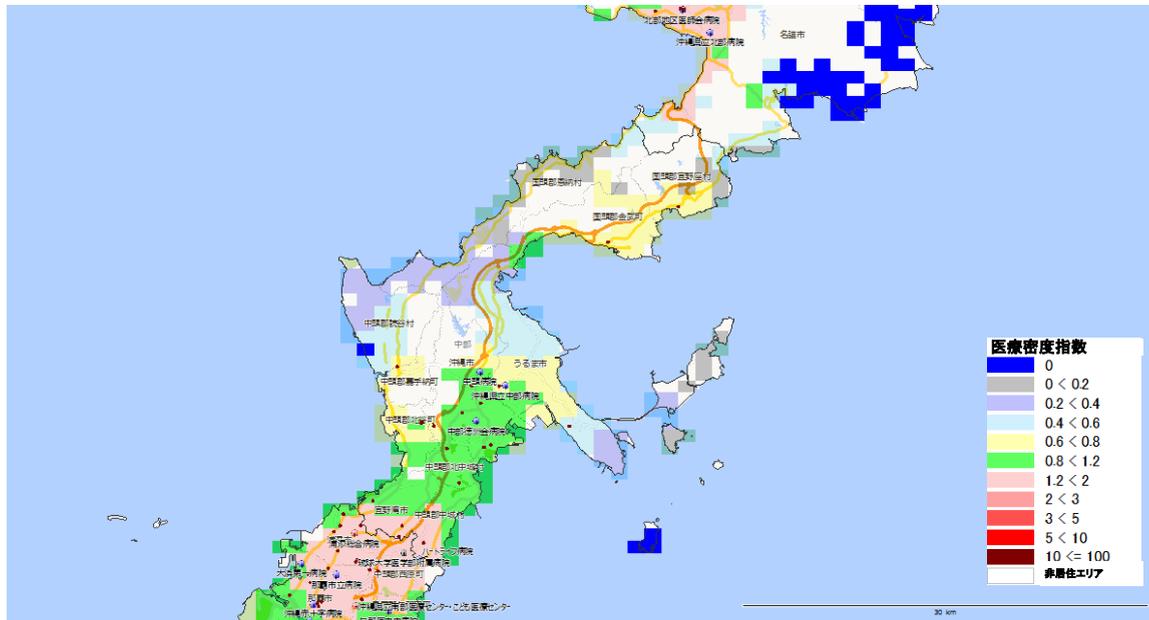
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1468床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に1376床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値56)と、92床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1275床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。



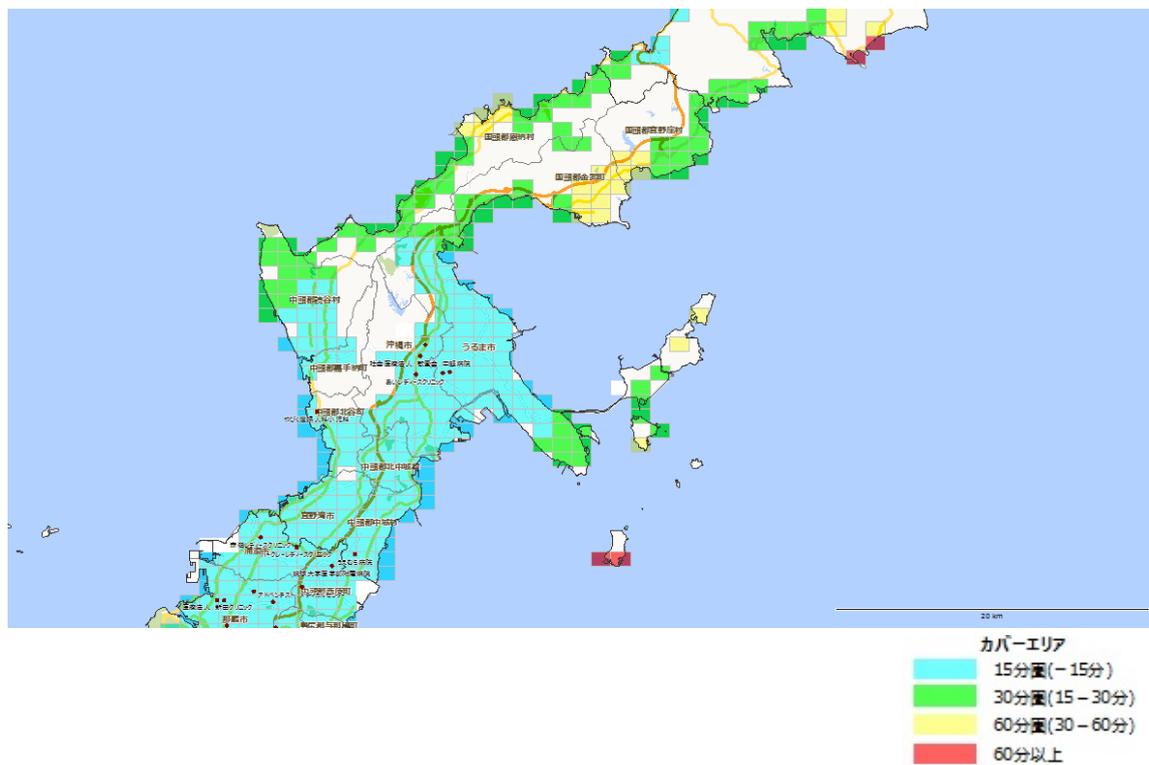
(中部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表47-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

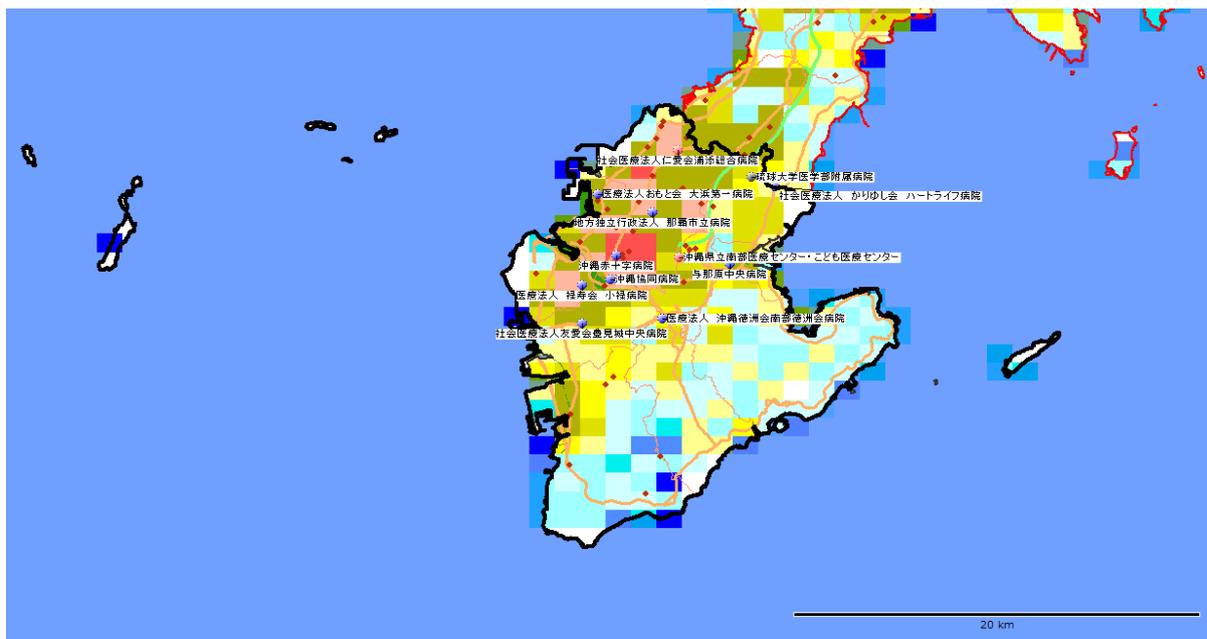
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



47-3. なんぶ南部医療圏

構成市区町村 ⁹	那覇市	浦添市	糸満市	豊見城市
	南城市	西原町	与那原町	南風原町
	渡嘉敷村	座間味村	粟国村	渡名喜村
	南大東村	北大東村	久米島町	八重瀬町

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南部(那覇市)は、総人口約727千人(2015年)、面積389km²、人口密度は1871人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に724千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に704千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の70千人が、2025年にかけて91千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には121千人へと増加する(2025年比+33%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は316千円(偏差値44)、介護給付費は298千円(偏差値63)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.16、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.74で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が55(病院医師数59、診療所医師数45)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の豊見城中央病院(Ⅲ群)、浦添総合病院(Ⅱ群・救命)、琉球大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の沖縄協同病院(Ⅲ群)、那覇市立病院(Ⅲ群)、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター(Ⅲ群・救命)、500例以上の沖縄赤十字病院(Ⅲ群)、南部徳洲会病院(Ⅲ群)、大浜第一病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6789人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4274床(偏差値50)、高齢者住宅等が2515床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7068人(75歳以上1000人当たりの偏差値71)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム46、軽費ホーム50、グループホーム40、サ高住55である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、673人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-35%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(南部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年688706人が、2015年に727337人と6%増加し、2025年の人口が723891人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

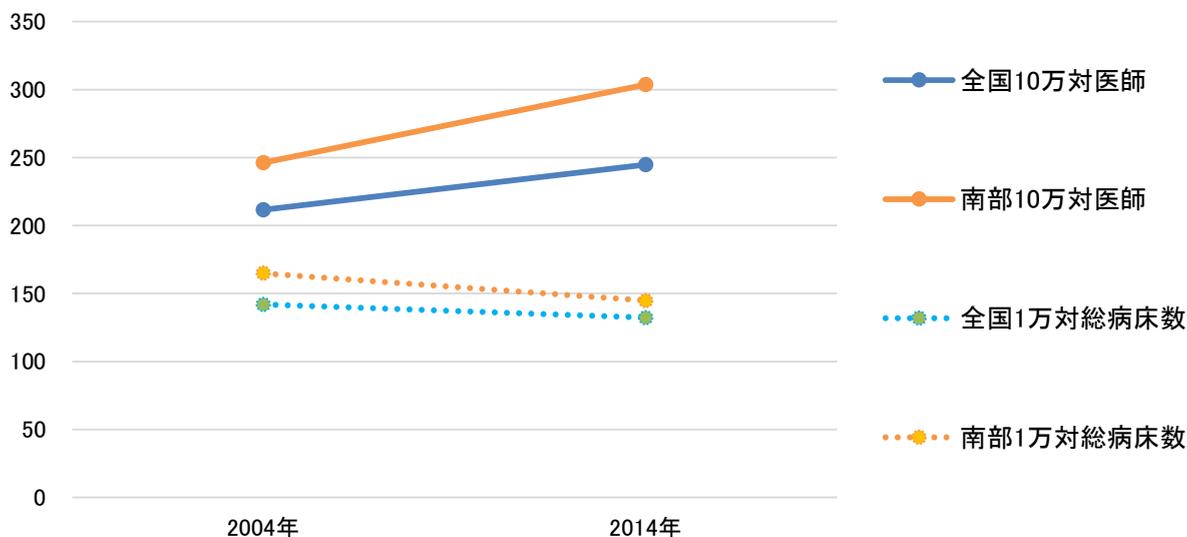
2004年の病院数が50(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に48(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が423(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に517(人口10万人当たり71診療所(全国平均79)偏差値46)と、94診療所が増加した。

2004年の総病床数が11360床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に10532床(人口1万人当たり145(全国平均132)偏差値52)と、828床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

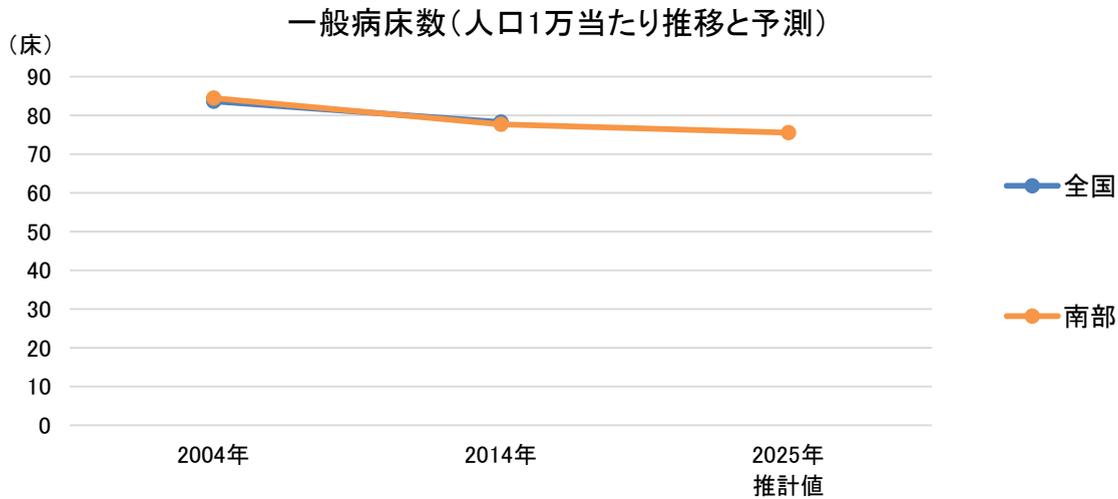
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1695人(人口10万人当たり246人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に2209人(人口10万人当たり304人(全国平均245人)偏差値56)と、514人の増加、率にして30%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



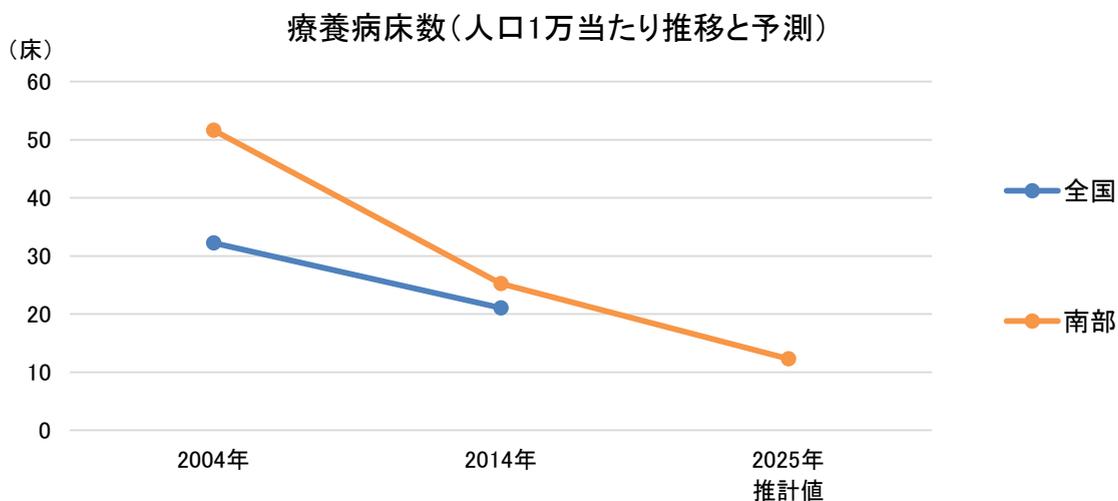
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5820床(人口1万人当たり85(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に5654床(人口1万人当たり78(全国平均78)偏差値50)と、166床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5471床(2025年の推計人口1万人当たり76)になることが予想される。



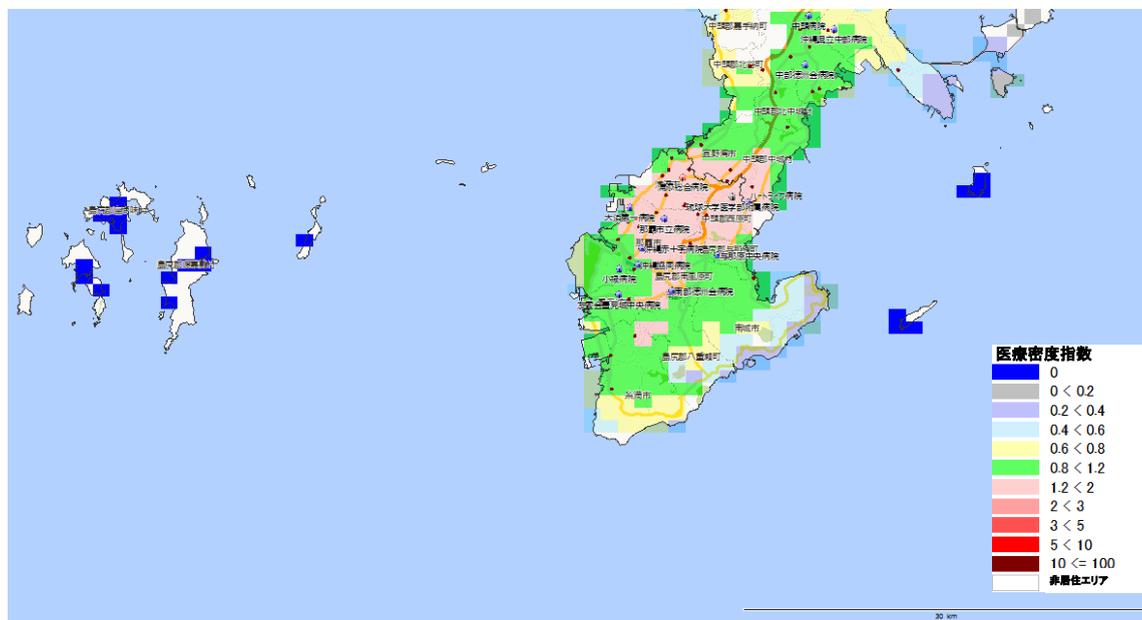
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2352床(75歳以上1000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に1767床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値54)と、585床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1124床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。



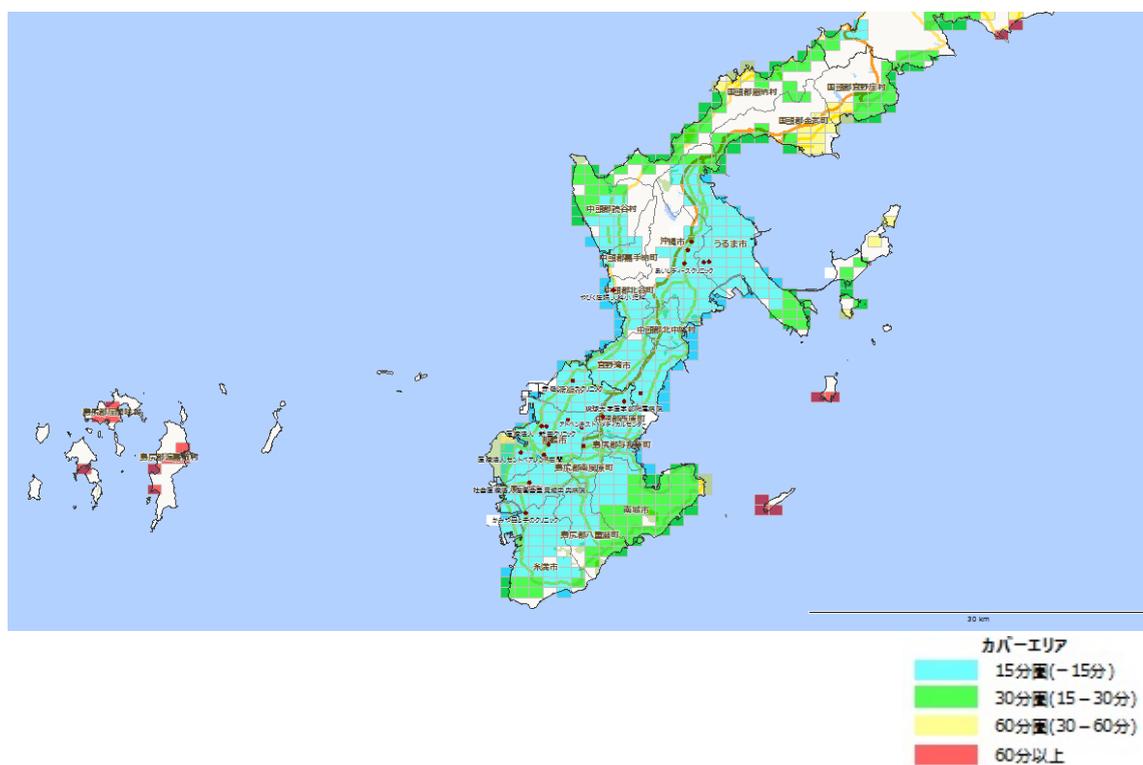
(南部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表47-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

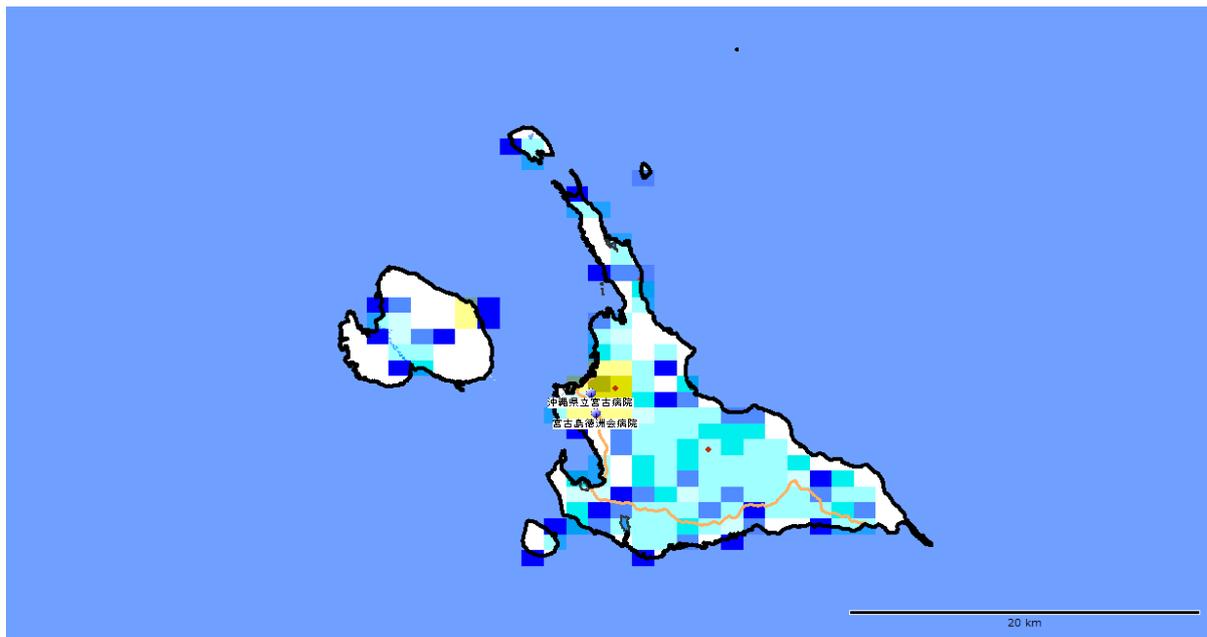
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



47-4. みやこ 宮古医療圏

構成市区町村⁹ [宮古島市](#) [多良間村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(宮古医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宮古(宮古島市)は、総人口約52千人(2015年)、面積226km²、人口密度は232人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宮古の総人口は2025年に48千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に43千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の7千人が、2025年にかけて7千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には10千人へと増加する(2025年比+43%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宮古の一人当たり医療費(国保)は262千円(偏差値31)、介護給付費は399千円(偏差値91)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宮古の一人当たり急性期医療密度指数²は1.39、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.39で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。宮古には、年間全身麻酔件数が500例以上の沖縄県立宮古病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宮古の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、793人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が516床(偏差値57)、高齢者住宅等が277床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、747人(75歳以上1000人当たりの偏差値71)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設72、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住58である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、277人(75歳以上1000人当たりの偏差値92)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(宮古医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宮古医療圏の総人口は、2005年54863人が、2015年に52380人と5%減少し、2025年の人口が48460人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

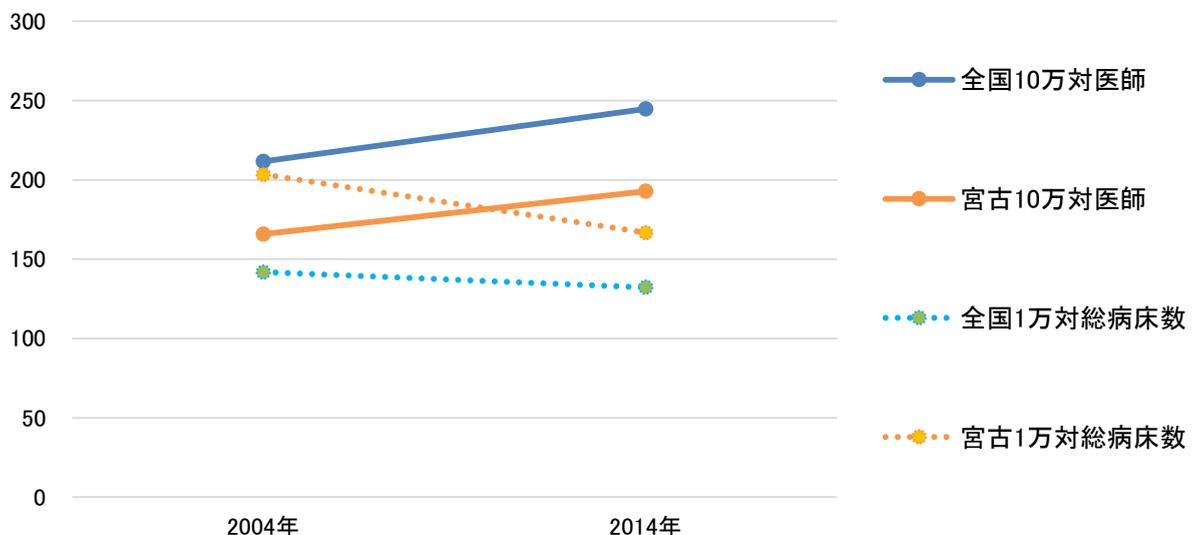
2004年の病院数が4(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に4(人口10万人当たり7.6病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が35(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に37(人口10万人当たり71診療所(全国平均79)偏差値46)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が1116床(人口1万人当たり203(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に873床(人口1万人当たり167(全国平均132)偏差値56)と、243床の減少、率にして22%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

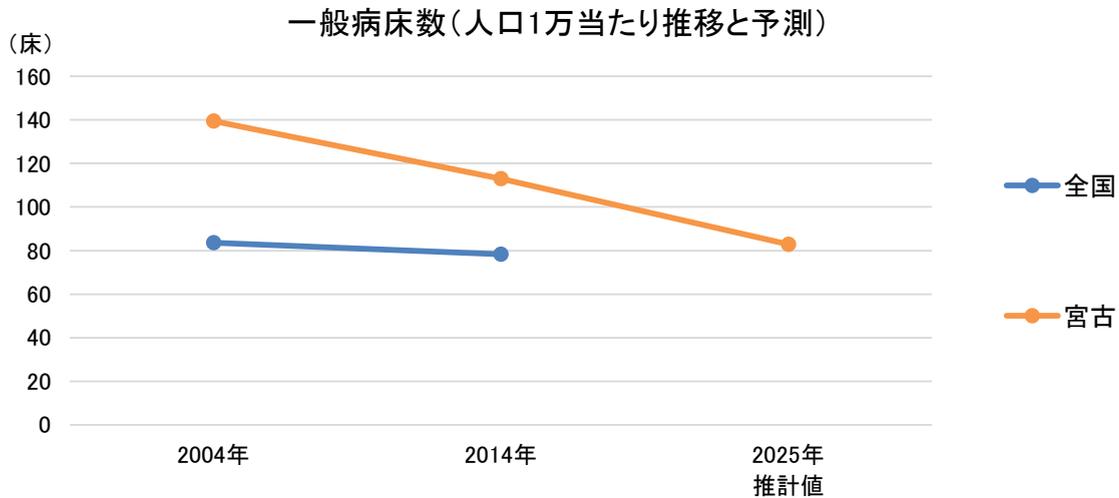
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が91人(人口10万人当たり166人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に101人(人口10万人当たり193人(全国平均245人)偏差値44)と、10人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



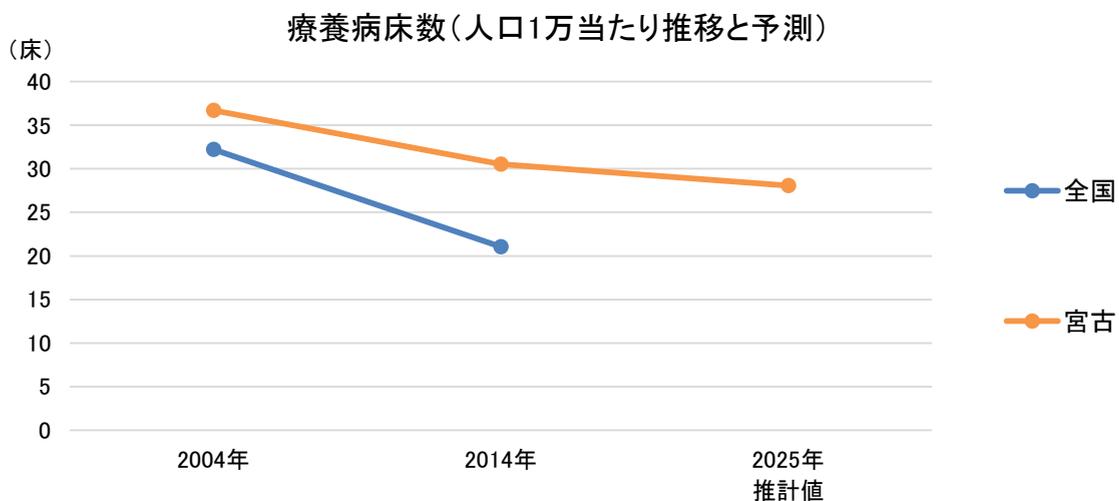
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が765床(人口1万人当たり139(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に592床(人口1万人当たり113(全国平均78)偏差値63)と、173床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には402床(2025年の推計人口1万人当たり83)になることが予想される。



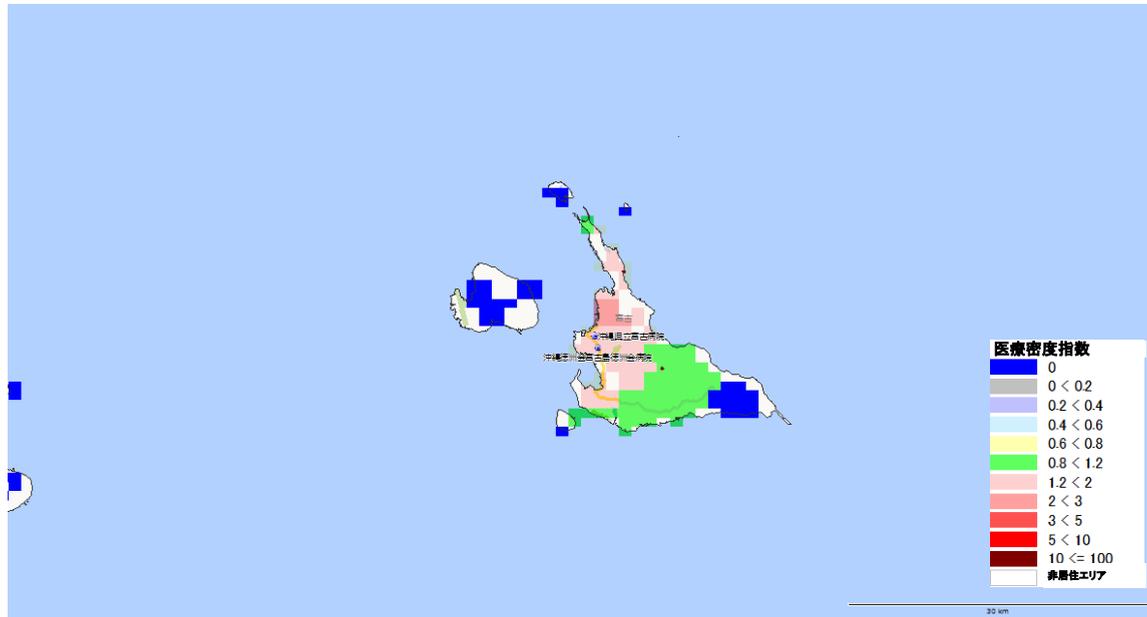
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が241床(75歳以上1000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に226床(75歳以上1000人当たり31(全国平均21)偏差値58)と、15床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には210床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。



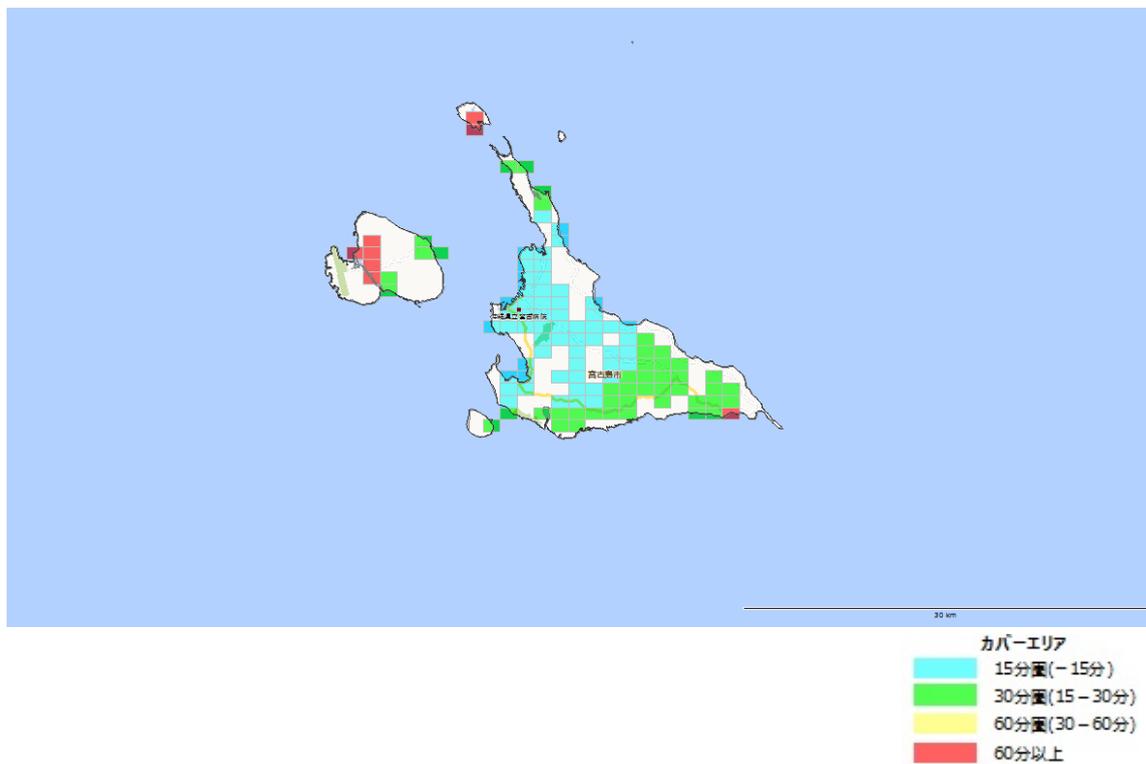
(宮古医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表47-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

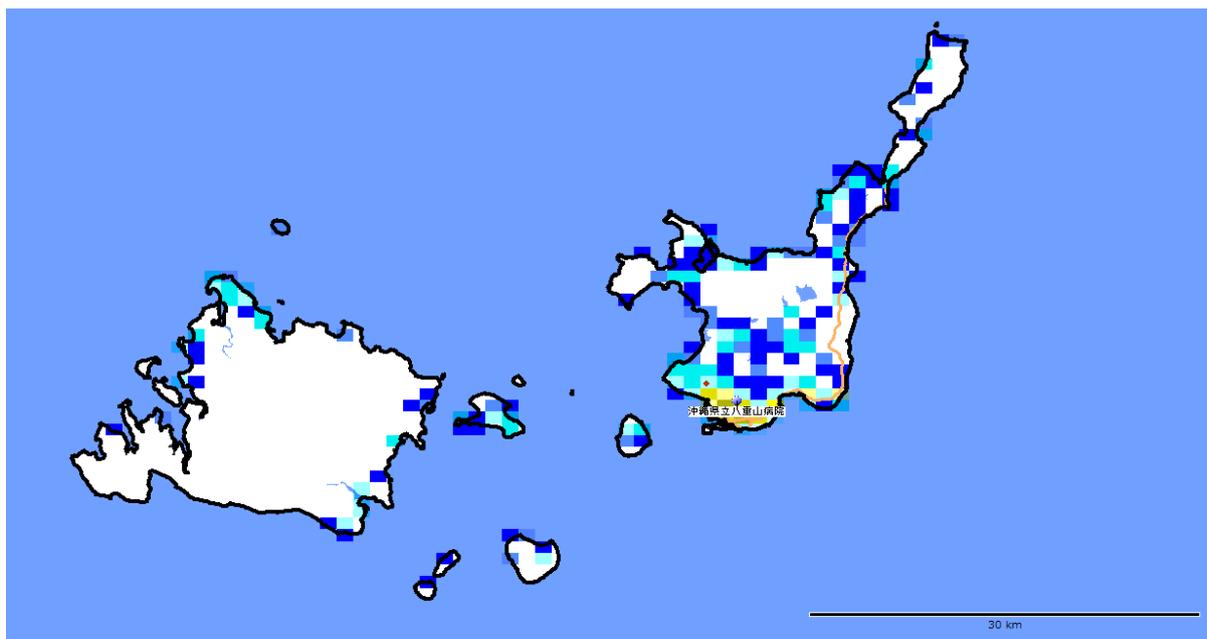
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



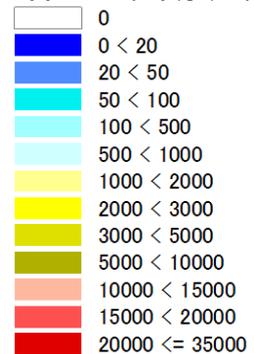
47-5. や え や ま 八重山医療圏

構成市区町村⁹ [石垣市](#) [竹富町](#) [与那国町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(八重山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 八重山(石垣市)は、総人口約53千人(2015年)、面積593km²、人口密度は90人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 八重山の総人口は2025年に54千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に52千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて7千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には9千人へと増加する(2025年比+29%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 八重山の一人当たり医療費(国保)は242千円(偏差値27)、介護給付費は323千円(偏差値70)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 八重山の一人当たり急性期医療密度指数²は0.67、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.67で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。八重山には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 八重山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、518人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が386床(偏差値59)、高齢者住宅等が132床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、513人(75歳以上1000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム83、グループホーム38、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値74と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、68人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(八重山医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

八重山医療圏の総人口は、2005年51171人が、2015年に53405人と4%増加し、2025年の人口が53669人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

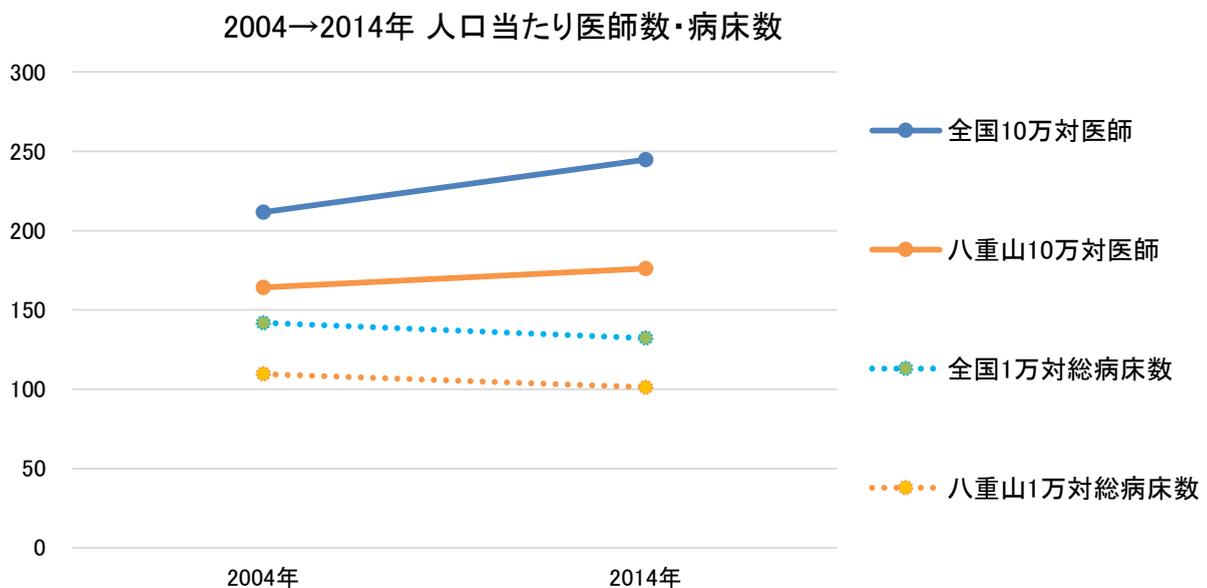
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が3(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に3(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に36(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値44)と、3診療所が増加した。

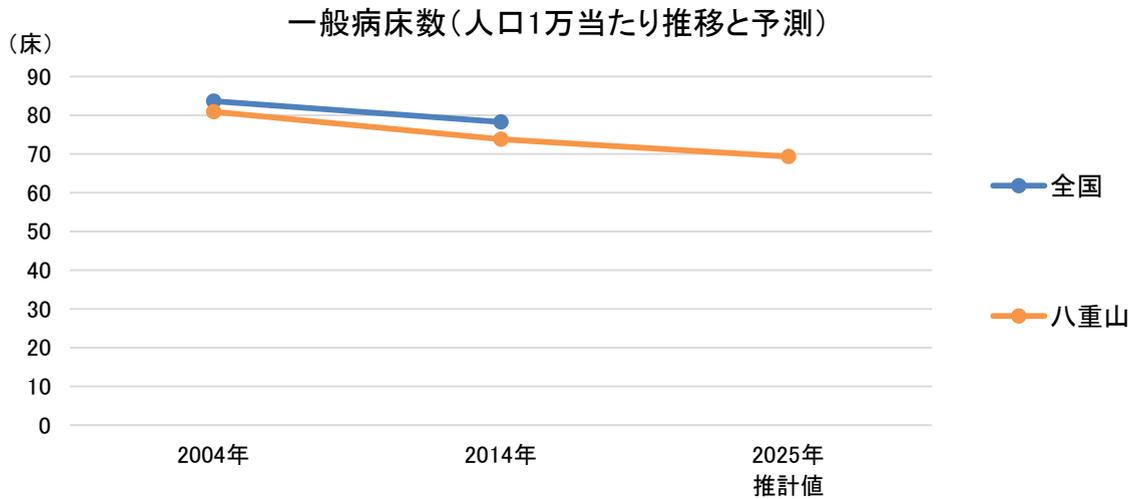
2004年の総病床数が561床(人口1万人当たり110(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に541床(人口1万人当たり101(全国平均132)偏差値45)と、20床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が84人(人口10万人当たり164人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に94人(人口10万人当たり176人(全国平均245人)偏差値43)と、10人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



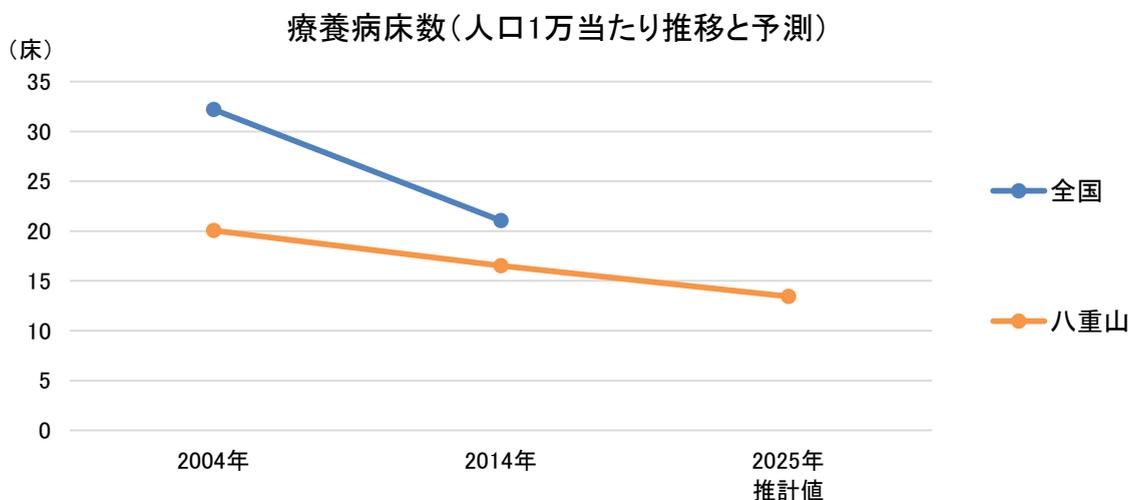
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が414床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に394床(人口1万人当たり74(全国平均78)偏差値48)と、20床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には372床(2025年の推計人口1万人当たり69)になることが予想される。



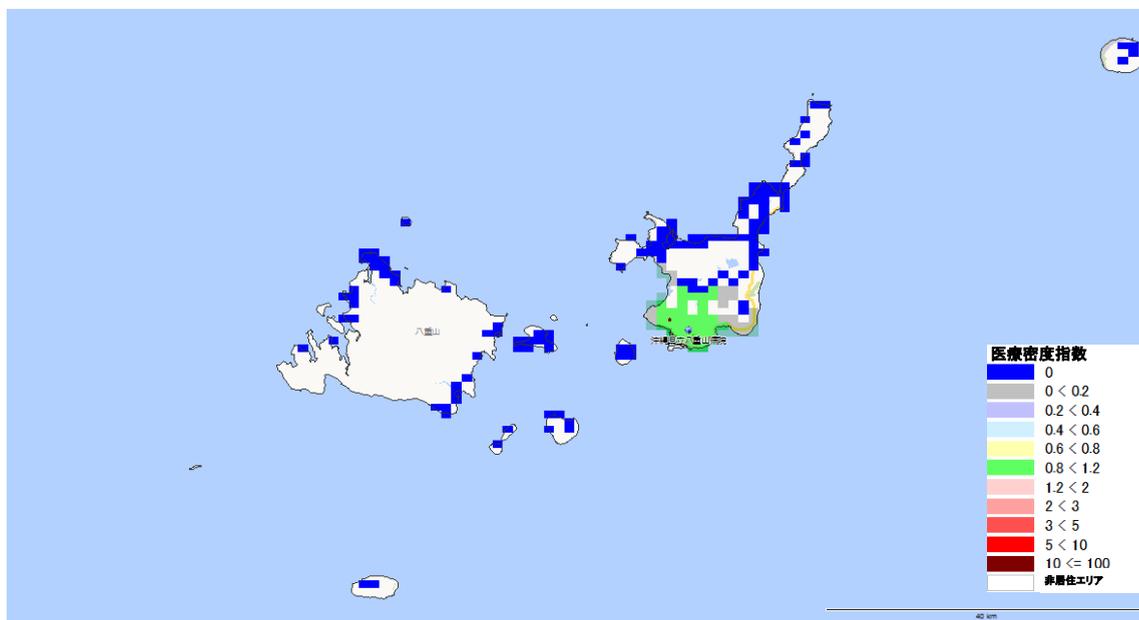
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が88床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に88床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値46)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。この調子で増減なしが続くとすると2025年には88床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



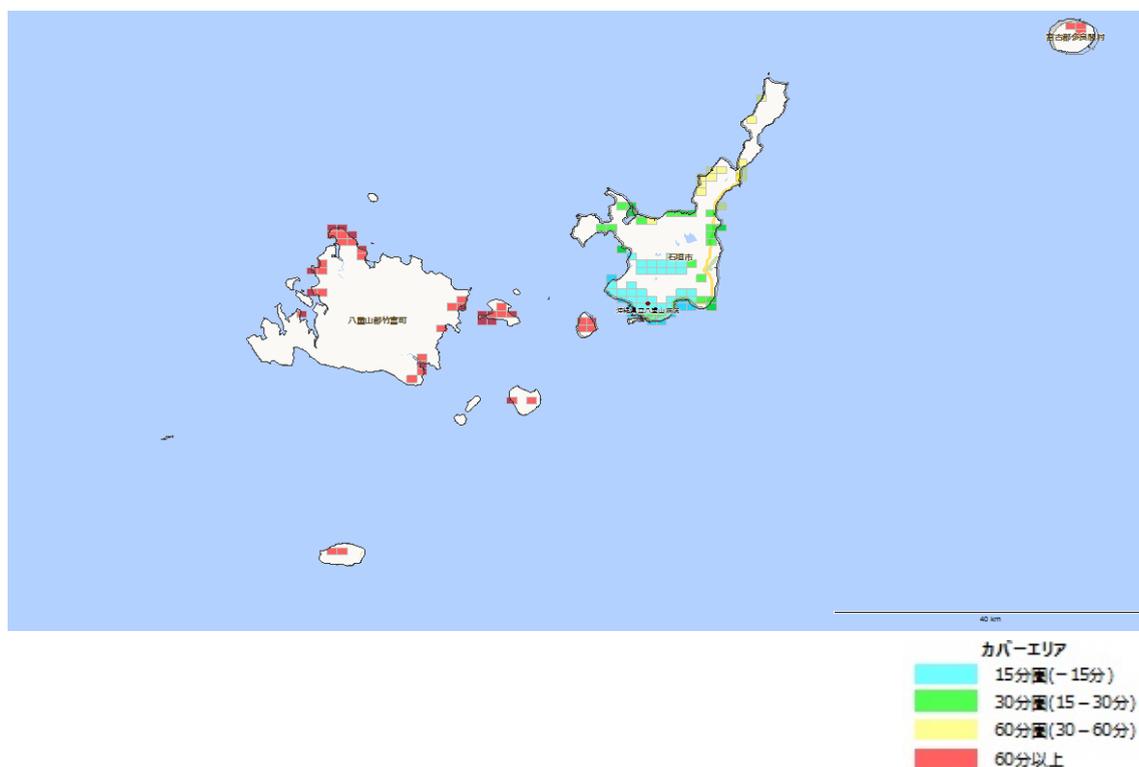
(八重山医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表47-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表47-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。